I-O DATA

IP カメラ共通
画面で見るマニュアル

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには

ご注意

管理者パスワード変更のお願い

セキュリティ強化のため、管理者パスワードの変更をお願いします。
初めに添付のセットアップガイド等でカメラ映像が見られる状態にしてください。その後、変更します。
詳しくは「管理者パスワードの変更方法」50 ページをご覧ください。

本マニュアルについて

- **本マニュアルは、弊社製 IP カメラ共通マニュアルです。（TS-WLCAM 除く）**

そのため、ご利用のカメラに対応していない機能や画面の説明も含まれます。
ご利用いただける機能については「カメラ別対応機能表」P.8 をご参照ください。

- **カメラのファームウェアは最新版にアップデートしてください**

カメラのファームウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。（「ファームウェアのバージョンアップ方法」P.53 参照）
古いファームウェアをご利用の場合、本マニュアルの内容と表示される画面や機能が異なる場合があります。

- **本マニュアルでは、弊社製 IP カメラの詳しい使い方や設定について説明しています。**

スマートフォンやパソコンからカメラにアクセスする方法および、カメラの仕様については各カメラに添付のマニュアルをご参照ください。
（以下の URL からもご覧いただけます。）
TS-WPCAM ⇒ http://www.iodata.jp/r/4287
TS-PTCAM ⇒ http://www.iodata.jp/r/4375
TS-WLC2 ⇒ http://www.iodata.jp/r/4457
TS-WLCE ⇒ http://www.iodata.jp/r/4649

- **スマートフォン / タブレット用カメラアプリ「QwatchView」の使い方については、「QwatchView」の画面で見るマニュアルをご覧ください。**

⇒ http://www.iodata.jp/lib/manual/pdf2/qwatchview.pdf

02 版

もくじ

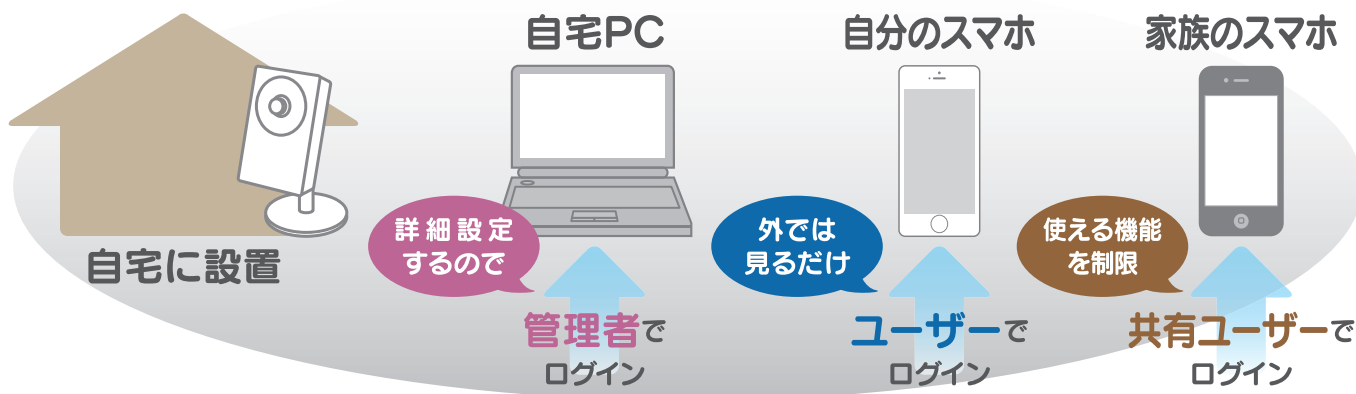
##

カメラ別対応機能について

アカウントについて

カメラは出荷時状態で管理者権限のアカウントが１つと、ユーザー権限のアカウントが１つ設定されています。
ご利用のカメラにより、設定されているアカウントおよび操作できる機能は異なります。
セキュリティ上、ご利用用途にあわせて管理者が使い分けしてください。

例えば…

例えば…

ユーザー権限と概要

ご利用のカメラにより、設定されているアカウントおよび操作できる機能(使用制限)は異なります。

ユーザー権限	ご利用用途	ユーザー名	パスワード	使用制限
管理者	カメラの管理者が利用します。カメラのすべての操作、設定がおこなえます。	admin	カメラの MAC アドレス(出荷時設定)	制限なし
ユーザー(共有ユーザー)(※ 1、2)	管理者が用途にあわせて使用制限を設定・編集できます。主に機能や期間を限定してカメラ映像を公開したい場合に利用します。	▽ 出荷時に設定されているアカウント TS-WPTCAM の場合：IO-WPTCAM TS-PTCAM の場合：IO-PTCAM TS-WLC2、TS-WLCE の場合：IO-CAM	添付の「かんたん接続シート」に記載されたパスワード(TS-WLCE の場合、確認することはできません)	制限あり(※ 3、4)

※ 1 オペレーター権限は QwatchView では「ユーザー権限」と表示されます。

※ 2 「カメラ共有」82 ページで作成した QR コードでカメラを登録した場合、QwatchView では「共有ユーザー」と表示されます。

※ 3 ユーザー権限ではカメラの設定をおこなうことはできません。また管理者はユーザー権限で使用できる機能を編集することができます。

※ 4 「カメラ別対応機能表」P.8 参照

カメラ別対応機能表

ご利用のカメラおよびログインしているアカウントにより操作できる機能(使用制限)は異なります。(※1)
Web ブラウザーからカメラを視聴する場合、使用できない機能は表示されません。
カメラアプリ「QwatchView」からカメラを視聴する場合、使用できない機能はグレー表示になります。

○ … 使用可能　× … 使用不可

カメラ型番	TS-WPTCAM	TS-PTCAM	TS-WLC2	TS-WLCE
ローカルドライブへの保存 / 録画	○	○	○	○
LAN DISK への保存 / 録画	○	○	○	○
SD カードへの保存 / 録画	○	○	○	×
音声対応(マイク搭載)	○	○	○	×
双方向会話(スピーカー搭載)	×	○(※2)	○	×
首振り対応(パン･チルト機能)	○	○	×	×
プライバシー機能	○	○	○	○
暗視機能	○	○	○	×
パトロール機能	○	○	×	×
動作検知機能	○	○	○	○
デジタルズーム	○	○	○	○
QR コード生成機能	○	○	○	○
設定画面	○	○	○	○

※ 1 ユーザー権限の場合、管理者が操作できる機能を設定します。(「アカウントの編集方法」P.51 参照)
※ 2 カメラに別途スピーカーを接続する必要があります。

各機能の使い方

操作パネルについて

操作パネルでは写真の保存など各機能の操作がおこなえます。
WEB ブラウザーにより表示される機能が異なります。 Internet Explorer では、すべての機能をご利用いただけます。

※ ご利用のカメラおよびログインしているアカウントにより利用可能な機能のアイコンのみ表示されます。
（対応機能については「カメラ別対応機能表」P.8 参照）

例：TS-WPTCAM の場合

例：TS-WLC2 の場合

パン・チルト操作ボタン	
	カメラを上下左右に動かします。 をクリックすると設定した位置（ホームポジション）に戻ります。「パン・チルト（首振り）を利用する」P.23 参照）
プリセット	
	カメラの向きを登録しておくと、プリセットボタンの番号を押すだけでカメラの向きを変更することができます。「準備＞＞＞プリセットの設定をする」P.25 参照）
ローカル保存（Internet Explorer でのみ表示）	
	画像 (静止画) を撮影し、ローカルのドライブに保存します。
	表示されている映像 (動画) をローカルのドライブに保存します。クリックすると、録画を開始します。同様にクリックすると録画を停止し、保存します。

LAN DISK/SD カード保存	
	画像 (静止画) を撮影し、LAN DISK または SD カードに保存します。 ※ SD カードに対応しているカメラの場合、出荷時設定は SD カードになります。 ※ 事前にカメラの設定画面で保存先の設定をしてください。(「LAN DISK に写真を保存する / 映像を録画する」P.15 参照、「SD カードに写真を保存する / 映像を録画する」P.18 参照)
	映像 (動画) を LAN DISK または SD カードに保存します。 クリックすると、録画を開始します。もう一度、クリックすると録画を停止します。 ※ SD カードに対応しているカメラの場合、出荷時設定は SD カードになります。 ※ 事前にカメラの設定画面で保存先の設定をしてください。(「LAN DISK に写真を保存する / 映像を録画する」P.15 参照、「SD カードに写真を保存する / 映像を録画する」P.18 参照)
画面(Internet Explorer でのみ表示)	
	映像を全画面表示します。
	拡大の有効 / 無効および拡大率を設定します。
モード	
	パトロール機能をオン / オフします。 ※ 事前にカメラの設定画面でパトロール機能を[有効]に設定しておく必要があります。(「パトロール機能を利用する」P.25 参照)
	プライバシー機能をオン / オフします。 ※ 事前にカメラの設定画面でプライバシー機能を[有効]に設定しておく必要があります。(「プライバシー機能を利用する」P.28 参照)
	暗視機能への自動切り替え機能が[有効](出荷時設定)になっている場合は、周りの明るさを感知し、自動的に暗視に切り替わります。 ※ クリックすると、カメラの自動切り替え機能の[有効]⇔[無効]を切り替えます。 ※ 自動切り替え機能が[有効]になっていても、カメラの周りが明るい場合は暗視に切り替わりません。
	動作検知機能をオン / オフします。 ※ 事前にカメラの設定画面で動作検知の設定しておく必要があります。(「動作検知機能を利用する」P.32 参照)
	パン・チルトの動作方向を反転します。
カメラのマイク音量	
	カメラのマイクの音量を選択します。 アイコンをクリックするとミュート(消音)します。
カメラのスピーカー音量	
	カメラのスピーカーの音量を選択します。 アイコンをクリックするとカメラのスピーカー機能をオン / オフします。

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

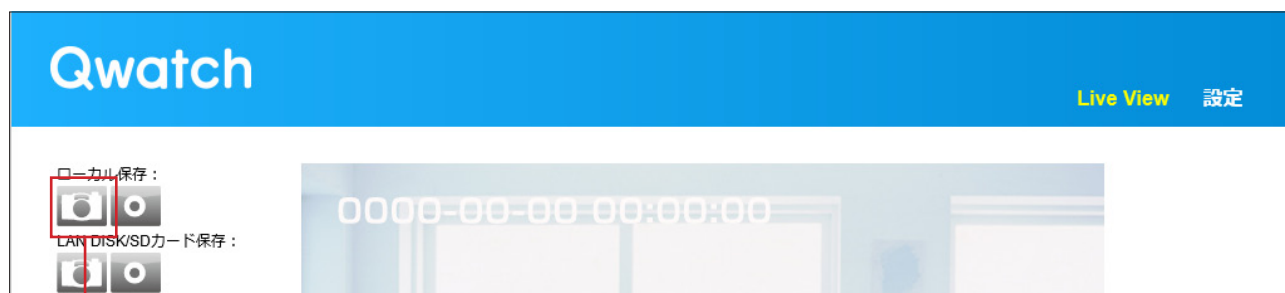
映像を保存する

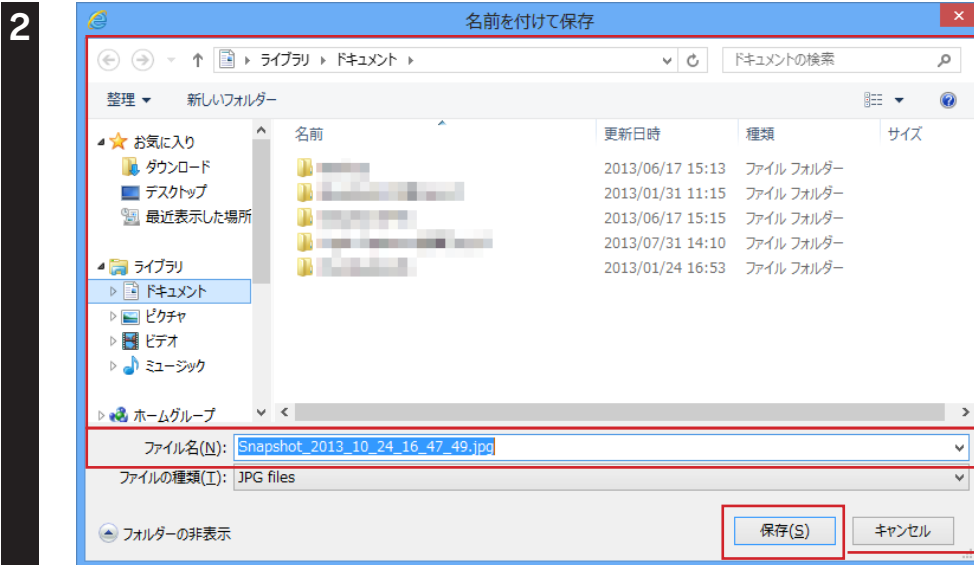
ローカルに写真を保存する

表示されている画像 (静止画) をローカルのドライブに保存します。

※ 本機能は Internet Explorer でのみ利用可能です。

1

① **Internet Explorer でカメラのライブ映像を表示する**

② **撮影したいタイミングで「ローカル保存」の （写真を保存）アイコンをクリック**

2

① **保存先フォルダーを選択**

② **ファイル名を変更する場合はお好きな名前を入力**

③ **[保存]をクリック**

※ ファイル形式：JPEG (「映像設定」65 ページのフォーマットが MJPEG の場合) または BMP (「映像設定」65 ページのフォーマットが H264 の場合)（ただし、TS-WLCE をご利用の場合、映像設定に関わらず JPEG となります）

※ ファイル名：Snapshot_（撮影日時）

以上で写真の保存は完了です。

ローカルに録画する

映像をパソコンに録画する手順を説明します。

※ 本機能は Internet Explorer でのみご利用可能です。

1 **Internet Explorer でカメラのライブ映像を表示する**

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

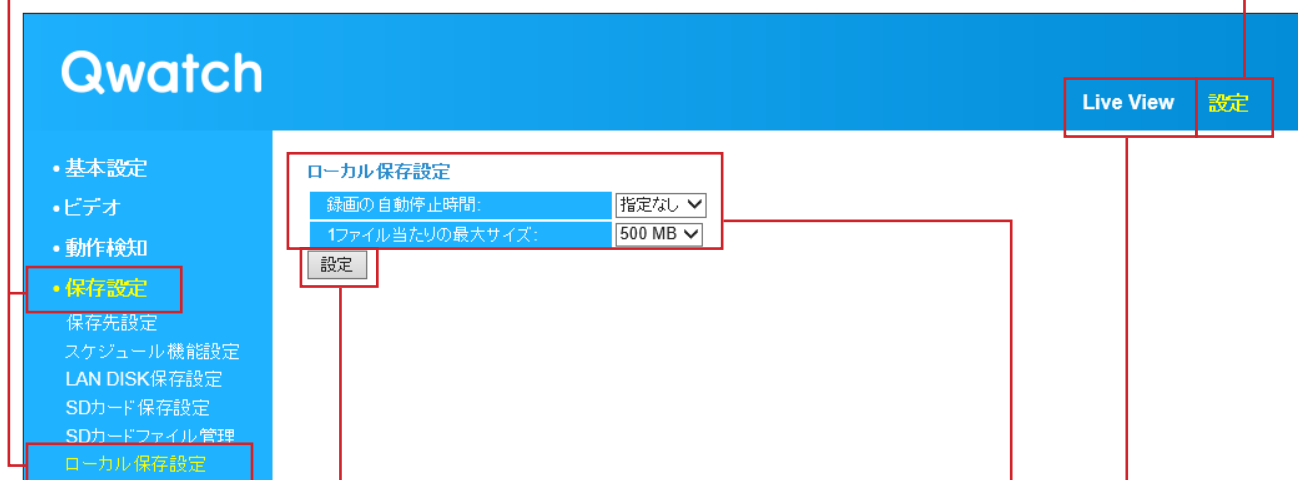
2 **① [設定]をクリック**

② [保存設定]→[ローカル保存設定]の順にクリック

Qwatch

Live View　設定

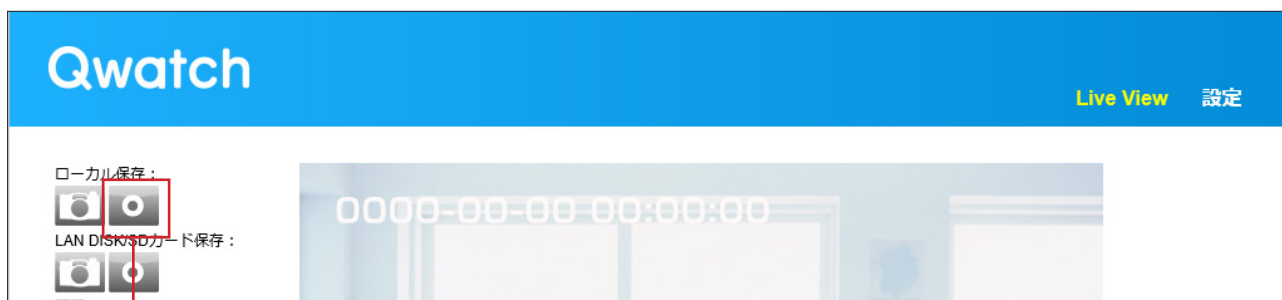
・基本設定
・ビデオ
・動作検知
・保存設定
保存先設定
スケジュール機能設定
LAN DISK保存設定
SDカード保存設定
SDカードファイル管理
ローカル保存設定

ローカル保存設定
録画の自動停止時間:　指定なし
1ファイル当たりの最大サイズ:　500 MB
設定

③ [ローカル保存設定]の各項目を設定

④ [設定]をクリック

⑤ [Live View]をクリック

ローカル保存設定	
録画の自動停止時間	選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。（3 分 /10 分 /30 分 / 指定なしから選択） [指定なし] を選択すると、録画停止ボタンをクリックするまで録画を続けます。
1 ファイル当たりの最大サイズ	1 ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。

3

録画したいタイミングで「ローカル保存」の（録画）アイコンをクリック

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

4

5

録画を停止したいタイミングで （停止）アイコンをクリック

※「録画の自動停止時間」の設定をしている場合は、（停止）アイコンをクリックせずに待ちます。設定した時間で自動的に録画が止まります。また、「録画の自動停止時間」の設定をしている場合でも（停止）アイコンをクリックすると、すぐに録画を停止します。

※ ファイル形式：MJPEG または H264（「映像設定」65 ページで設定）

※ ファイル名：Record_（撮影日時）

以上で映像の録画は完了です。

LAN DISKに写真を保存する/映像を録画する

カメラの設定画面にて保存先を登録し、LAN DISK に映像を保存します。

1 **WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

2

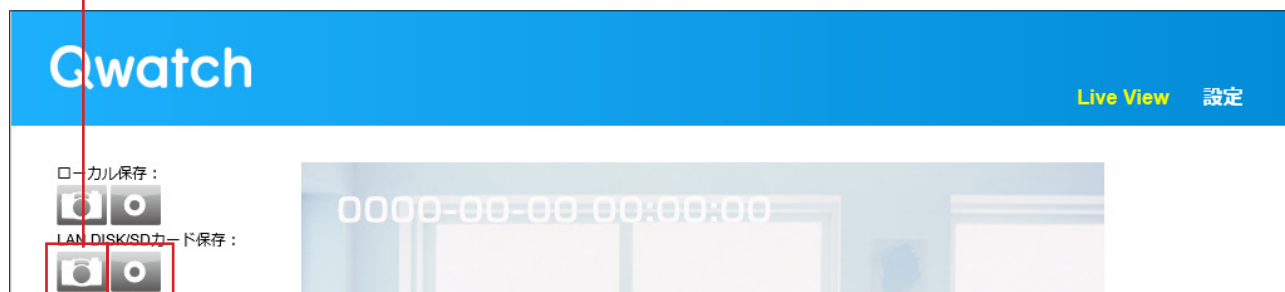
3

LAN DISK 保存設定		
ステータス	LAN DISK の接続状態を表示します。 ※[設定]をクリック後、接続状態が反映されるまで、しばらく時間がかかります。	
	非接続	LAN DISK にファイルを保存できない状態です。LAN DISK が非接続または未設定または設定内容が間違っています。
	接続	LAN DISK にファイルを保存できる状態です。
保存場所	保存先 LAN DISK の IP アドレスとフォルダー名を入力します。 (\\ IP アドレス \ 共有フォルダー名 \ (フォルダー名)) ※ ルートフォルダーに保存する場合は、「 \ (フォルダー名)」は不要です。 ※ フォルダーおよびファイルを含めたフルパスで 256 文字まで入力できます。 ※ 保存先フォルダー名は半角英数字で指定します。 例) 以下の場所を保存先に指定する場合、「\\192.168.0.200\disk\camera」と入力します。 （IP アドレス：192.168.0.200／共有フォルダー：disk／フォルダー：camera）	
録画容量不足の通知	有効にすると、録画容量が足りなくなった場合に、メールでお知らせします。 ※ メール設定は本製品の設定画面の[基本設定]→[メール設定]でおこないます。(「メール設定」P.64 参照)	
録画の自動停止時間	選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。(3 分 /10 分 /30 分 / 指定なしから選択) [指定なし] を選択すると、録画停止ボタンをクリックするまで録画を続けます。	
連続録画	有効にすると、連続で録画します。 ※ 容量が足りなくなった場合、古い録画ファイルを消して(上書きして)、録画を続けます。	
1 ﾌｧｲﾙ当たりの最大ｻｲｽﾞ	1 ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。 (10/50/100/300/500MB から選択)	
LAN DISK への最大保存サイズ	録画で使用する容量を制限する設定です。1 台の LAN DISK に対して複数のカメラで録画をおこなう場合に設定します。 (使用しない /10GB/50GB/100GB/250GB/500GB/750GB/1000GB から選択)	
アクセス権限	制限なし / 制限ありを選択します。	
	制限あり	保存先 LAN DISK の共有フォルダーにアクセス制限を設定されている場合に選択します。LAN DISK に登録したユーザー名とパスワードを設定します。
	制限なし	保存先 LAN DISK の共有フォルダーにアクセス制限を設定していない場合に選択します。
ﾕｰｻﾞｰ名	上記、アクセス制限を[制限あり]にした場合、LAN DISK に登録したユーザー名とパスワードを入力し、設定します。	
パスワード	（ﾕｰｻﾞｰ名の説明と共通）	

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

4

写真を保存する場合 ▶ 撮影したいタイミングで「LAN DISK/SD カード保存」の **(LAN DISK/SD カードへ写真を保存)アイコンをクリック**

※ ファイル形式：JPEG (「映像設定」65 ページでのフォーマットが MJPEG の時) または BMP (「映像設定」65 ページでのフォーマットが H264 の時)（ただし、TS-WLCE をご利用の場合、映像設定に関わらず JPEG となります）

※ ファイル名：Snapshot_（撮影日時）

映像を録画する場合 ▶ 撮影したいタイミングで「LAN DISK/SD カード保存」の (LAN DISK/SD カードへ録画)アイコンをクリック

5

映像を録画する場合のみ ▶ 録画を停止したいタイミングで (停止)アイコンをクリック

※「録画の自動停止時間」の設定をしている場合は、(停止)アイコンをクリックせずに待ちます。設定した時間で自動的に録画が止まります。また、「録画の自動停止時間」の設定をしている場合でも (停止)アイコンをクリックすると、すぐに録画を停止します。

※ ファイル形式：MJPEG または H264 （「映像設定」65 ページで設定）

※ ファイル名：Record_（撮影日時）

以上で映像の LAN DISK への保存は完了です。

ご注意

LAN DISKに録画中に通信障害が発生すると、録画中のデータが壊れる可能性があります。

そのため、LAN DISK への録画する際は、カメラを有線 LAN ルーターへ接続し、「1 ファイル当たりの最大サイズ」の設定を小さく設定することをお勧めします。

ヒント

映像設定により録画時間は異なります。

「困ったときには」-「映像設定により録画時間が違う」92 ページを参照し、設定してください。

SDカードに写真を保存する/映像を録画する

本製品の設定画面にて保存先を登録し、映像を保存します。

1 **WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

2

① [設定]をクリック

② [保存設定]→[保存先設定]の順にクリック

Qwatch

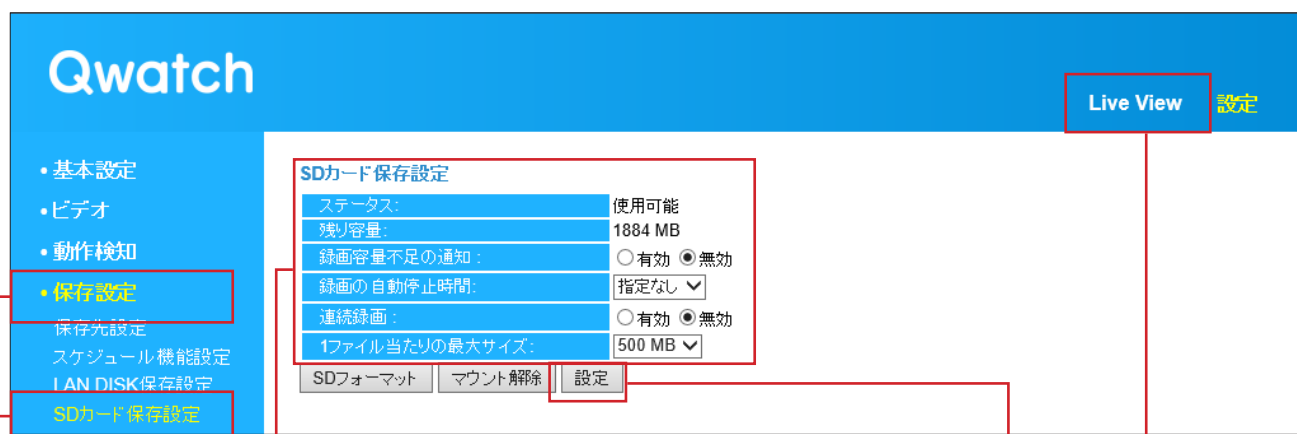
Live View 設定

・基本設定
・ビデオ
・動作検知
・保存設定
保存先設定
スケジュール機能設定
LAN DISK保存設定

保存場所
保存先: SDカード
設定

③ [SD カード]を選択

④ [設定]をクリック

3

ヒント

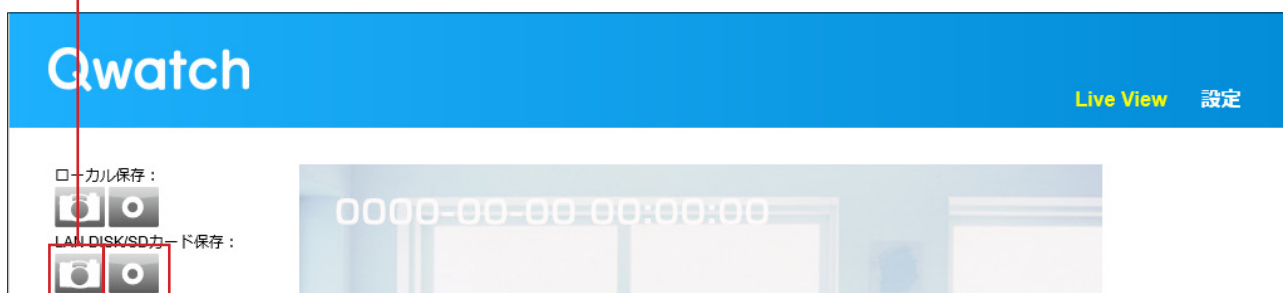
SDカードを取り外す場合は、SDカード保存設定のマウント解除を実行してください

SD カードをマウント解除せずに抜くと、保存データの毀損・消失や故障の原因となります。保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。

SD カード保存設定		
ステータス	SD カードの接続状態を表示します。	
	SD カードが挿入されていません。	SD カードが取り付けられていないか、保存できない状態です。
	使用可能	SD カードにファイルを保存できる状態です。
残り容量	SD カードの空き容量を表示します。	
録画容量不足の通知	有効にすると、録画容量が足りなくなった場合に、メールでお知らせします。 ※ メール設定は本製品の設定画面の[基本設定]→[メール設定]でおこないます。(「メール設定」P.64 参照)	
録画の自動停止時間	選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。[指定なし] を選択すると、録画停止ボタンをクリックするまで録画を続けます。	
連続録画	有効にすると、連続で録画します。 ※ 容量が足りなくなった場合、古い録画ファイルを消して(上書きして)、録画を続けます。	
1 ファイル当たりの最大サイズ	1 ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。	
SD フォーマット	クリックすると、SD カードを初期化します。 ※ 初期化すると SD カード内のデータがすべて消えてしまいます。 SD カード内に保存された重要なデータについては、必ず定期的にバックアップをおこなってください。接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。(バックアップとは保存したデータを守るために、HDD・BD・DVD などの記憶媒体にデータの複製を作成することです。データを移動させることはバックアップではありません。)	
マウント解除	クリックすると、本製品の電源が入っている状態でも SD カードを取り外せます。 ※ SD カードをマウント解除せずに抜くと、保存データの毀損・消失や故障の原因となります。保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。	

4

写真を保存する場合 ▶ 撮影したいタイミングで「LAN DISK/SD カード保存」の (LAN DISK/SD カードへ写真を保存)アイコンをクリック

※ ファイル形式：JPEG (「映像設定」65 ページのフォーマットが MJPEG の時) または BMP (「映像設定」65 ページのフォーマットが H264 の時) (ただし、TS-WLCE をご利用の場合、映像設定に関わらず JPEG となります)

※ ファイル名：Snapshot_ (撮影日時)

映像を録画する場合 ▶ 撮影したいタイミングで「LAN DISK/SD カード保存」の (LAN DISK/SD カードへ録画)アイコンをクリック

5 映像を録画する場合のみ ▶ 録画を停止したいタイミングで （停止）アイコンをクリック

※「録画の自動停止時間」の設定をしている場合は、 （停止）アイコンをクリックせずに待ちます。
設定した時間で自動的に録画が止まります。また、「録画の自動停止時間」の設定をしている場合でも
（停止）アイコンをクリックすると、すぐに録画を停止します。
※ ファイル形式： MJPEG または H264 （「映像設定」65 ページで設定）
※ ファイル名：Record_（撮影日時）

以上で写真の SD カードへの保存は完了です。

ヒント

映像設定により録画時間は異なります。

「困ったときには」- 「映像設定により録画時間が違う」92 ページを参照し、設定してください。

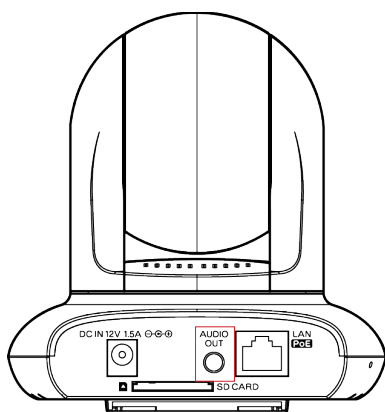
カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

カメラ側の音を聞く / 話しかける

マイクがカメラに搭載されている場合、映像と同時にカメラ側の音声を聞くことができます。
またパソコンなどのマイクに話かけるとカメラのスピーカーに出力することができます。

※ 本機能は Internet Explorer でのみご利用可能です。
※「TS-WLC2」はスピーカーを内蔵しています。別途スピーカーを接続する必要はありません。
※「TS-PTCAM」の場合、AUDIO OUT 端子にお手持ちのスピーカーを接続する必要があります。
※ 複数の端末から同時にスピーカー機能を利用することはできません。最初にカメラに接続した端末でスピーカー機能をご利用いただけます。

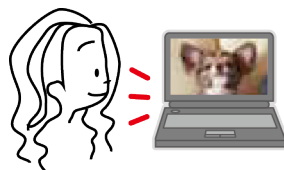
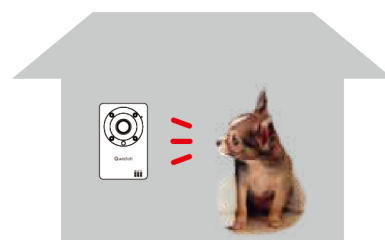
1 **「TS-PTCAM」の場合、カメラの背面にある[AUDIO OUT]端子とスピーカーをオーディオケーブルで接続**

※ アンプ機能が内蔵されているアクティブスピーカーを接続してください。
※［AUDIO OUT］端子：3.5mm 径ミニジャック

2 **① WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**

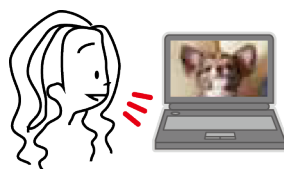
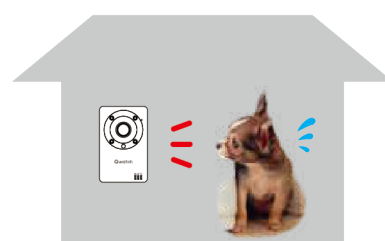
② カメラのスピーカー音量アイコン をクリックし、オン にする

3

カメラ側の音を聞く場合

カメラのマイクに話しかけると
⇒ パソコン等のスピーカーから
音がでます。

▼ 使用イメージ
TS-WLC2 の場合（カメラ内蔵）

※ カメラの音がパソコン側で聞こえないようにする場合は、マイク音量アイコン をクリックし、消音 にしてください。

カメラに話しかける場合

パソコン等のマイクに話しかけると
⇒ カメラのスピーカーから
音がでます。

▼ 使用イメージ
TS-WLC2 の場合（カメラ内蔵）

※ パソコン側の音がカメラのスピーカーに出ないようにするには、スピーカー音量アイコン をクリックし、オフ にしてください。

以上で、操作は完了です。

パン・チルト(首振り)を利用する

パン・チルト機能を利用すると、カメラを左右・上下に動かすことができます。
設定画面でカメラの回転速度や範囲を設定し、利用します。

準備>>>パン・チルトの設定をする

1 **WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**

※ 管理者権限(ユーザー名：admin)でログインしてください。

2

パン・チルト設定	
回転スピード	カメラの回転スピードを設定します。
回転幅	カメラの回転幅を設定します。
自動校正	有効にすると、自動的にカメラのカメラのホームポジションの位置を校正します。
位置校正時間設定	自動校正を[有効]に選択した場合、ホームポジションの位置校正をおこなう時間を設定します。 [手動校正]をクリックすると、直ちにホームポジションの位置校正をおこないます。

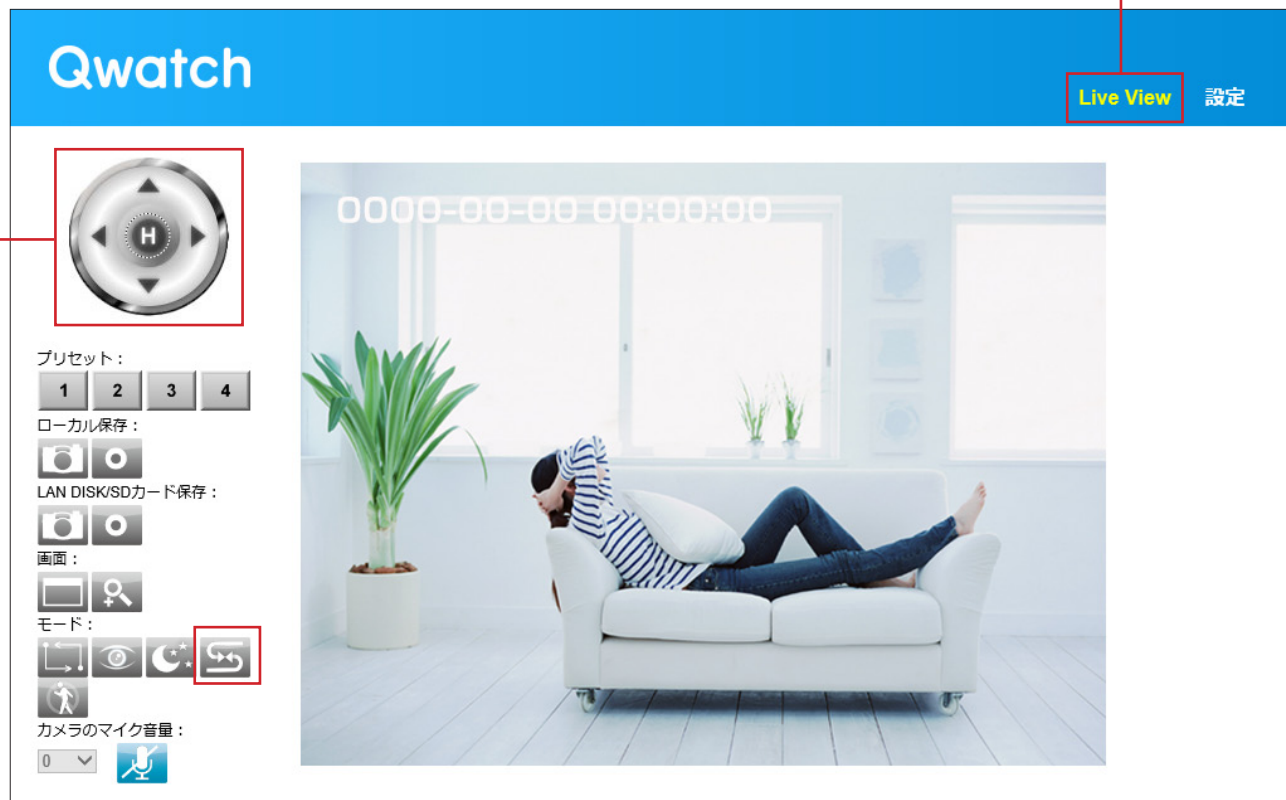
以上で、パン・チルトの設定は完了です。
次にパン・チルト機能を利用します。

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

パン・チルト（首振り）を利用する

1

① [Live View]をクリック

② パン・チルト操作ボタンをクリックし、首振りする

パン・チルト操作ボタン	
	カメラを上下左右に動かします。 H をクリックすると設定した位置（ホームポジション）に戻ります。（「ホームポジション設定」P.78 参照）
	パン・チルトの動作方向を反転します。

※ 視聴中、録画中にパン・チルトをおこなうと、カメラの駆動音が収録されますのでご注意ください。

ヒント

カメラの方向を登録する方法（プリセット設定）

あらかじめカメラの方向を登録しておくと、パンチルトする場合に便利です。
（「準備＞＞＞プリセットの設定をする」P.25 参照）

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

パトロール機能を利用する

設定した範囲を設定したスケジュールでパトロールすることができます。
はじめにプリセット設定でカメラの方向を登録し、パトロール設定でスケジュール等を設定します。

準備>>>プリセットの設定をする

1 **WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**

※ 管理者権限(ユーザー名:admin)でログインしてください。

2 **① [設定]をクリック**

② [パン・チルト]→[プリセット設定]の順にクリック

③ [←][↑][↓][→][初期位置]をクリックし、設定したい方向にカメラの向きを動かす

④ [プリセット番号]を選択する

⑤ [設定]をクリック

※ プリセットは4つまで登録できます。上記画面で順に登録してください。

以上で、プリセットの設定は完了です。
次にパトロールの設定をします。

準備>>>パトロールの設定をする

1

① [パン・チルト]→[パトロール設定]の順にクリック
② [パトロール設定]の各項目を設定する

③ [設定]をクリック

パトロール設定	
パトロールモード	[有効]を選択します。
スケジュール機能	パトロール時間を設定する場合は、[有効]を選択します。
パトロール時間	[スケジュール機能]を[有効]にした場合、パトロールする時間帯を設定します。 ※ 開始と終了は、3 分以上空けて設定してください。 ※ 開始時間と終了時間を同じ時間に設定することはできません。
パトロール範囲	パトロールモードの有効時に、パトロールする範囲を設定します。「プリセット設定」で設定した向きを選択します。 ※ 4つまで範囲を設定できます。
プリセット位置での停止時間	プリセット設定した位置で停止する時間を設定します。 ※ 10 秒以上に設定してください。

以上で、パトロールの設定は完了です。
次にパトロール機能を利用します。

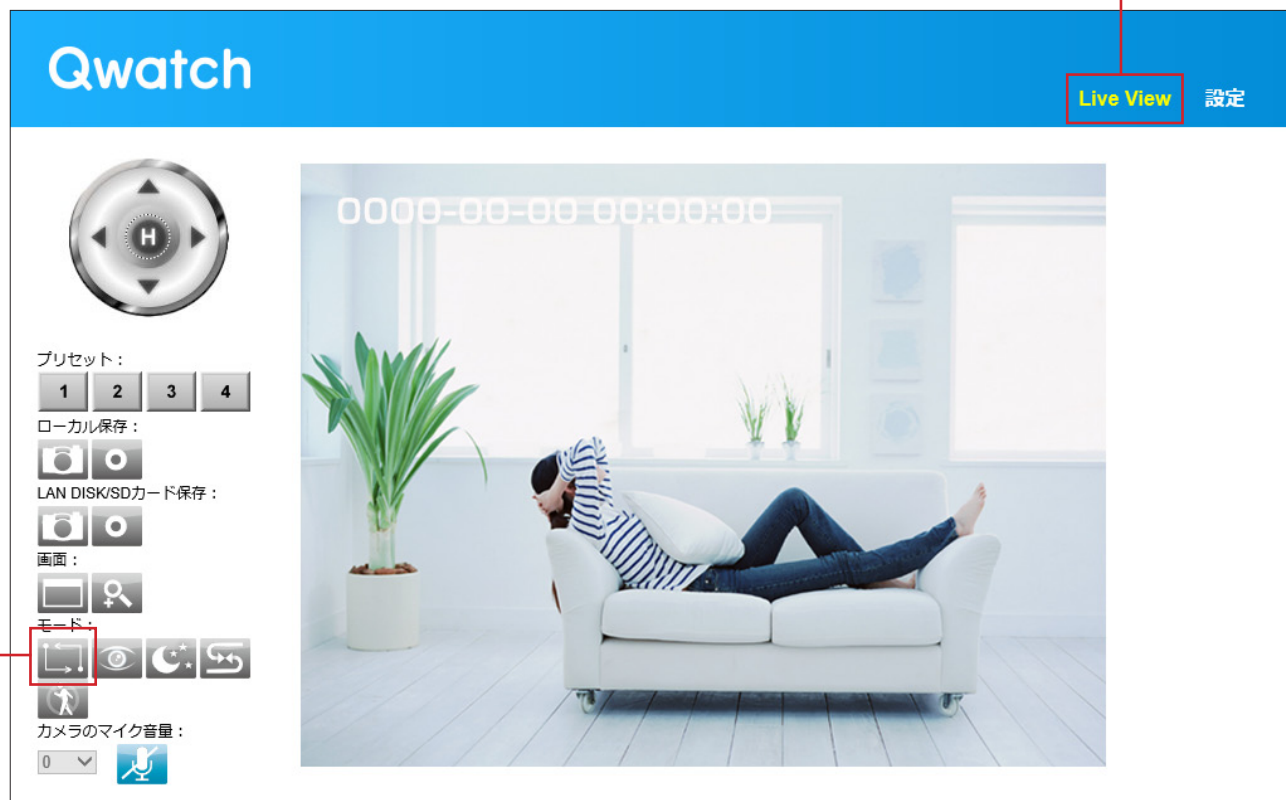
カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

パトロール機能を利用する

1

① [Live View]をクリック

② パトロールアイコン をクリック ⇒ パトロールを開始します。

※ スケジュール機能が有効になっている場合は、設定した時間になるとパトロールを開始します

2

再度、パトロールアイコン をクリックすると、パトロールを終了します。

※ スケジュール機能が有効になっている場合は、自動的に設定した時間になるとパトロールを終了します。

プライバシー機能を利用する

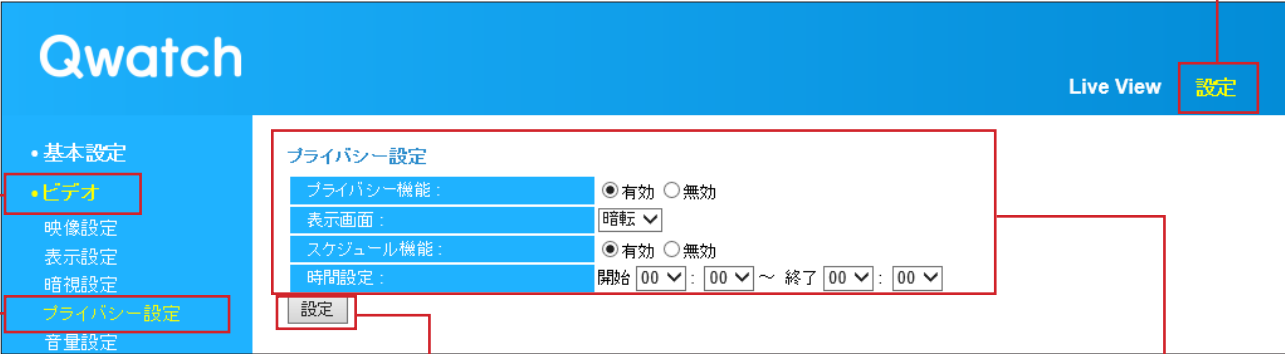
カメラの映像を公開したくない場合に使用します。

準備>>>プライバシーの設定をする

1 **WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**

※ 管理者権限(ユーザー名：admin)でログインしてください。

2 **① [設定]をクリック**

② [ビデオ]→[プライバシー]の順にクリック

③ [プライバシー設定]の各項目を設定

④ [設定]をクリック

プライバシー設定	
プライバシー機能	[有効]を選択します。
表示設定	[暗転]のみ選択できます。
スケジュール機能	スケジュールを設定する場合は[有効]を選択します。
時間設定	[スケジュール機能]を[有効]にした場合、プライバシー機能を有効にする時間を設定します。 ※ 開始と終了は、3 分以上空けて設定してください。 ※ 開始時間と終了時間を同じ時間に設定することはできません。

以上でプライバシーの設定は完了です。

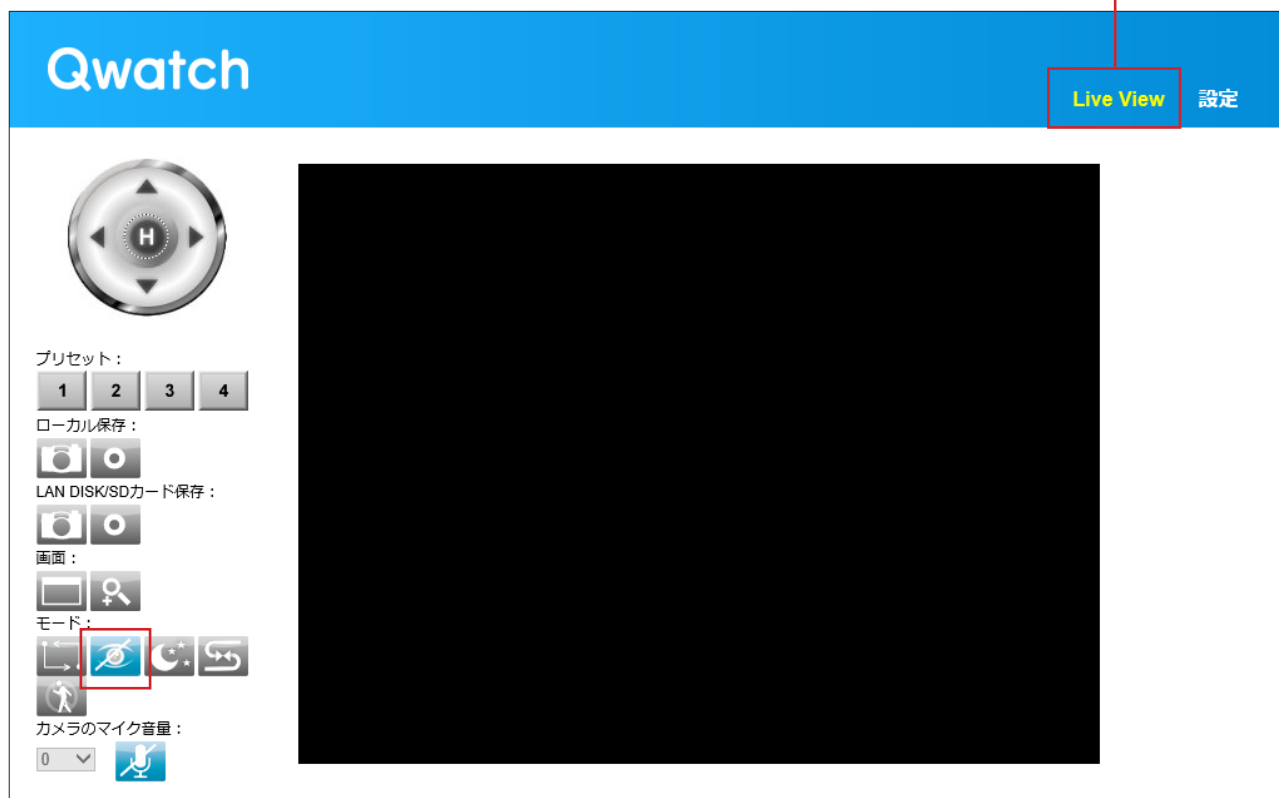
次にプライバシー機能を利用します。

プライバシー機能を利用する

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

1 **[Live View]をクリック**

※ プライバシー機能が[有効] になっている場合は、 アイコンをクリックして、[無効] に切り替えることができます。

※ 管理権限（ユーザー名：admin）以外でログインしている場合、プライバシーモードアイコンは表示されません。管理権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

暗視機能を利用する

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

暗視モードを利用すると、暗闇の中、約 5m 先の映像まで表示することができます。

ご注意

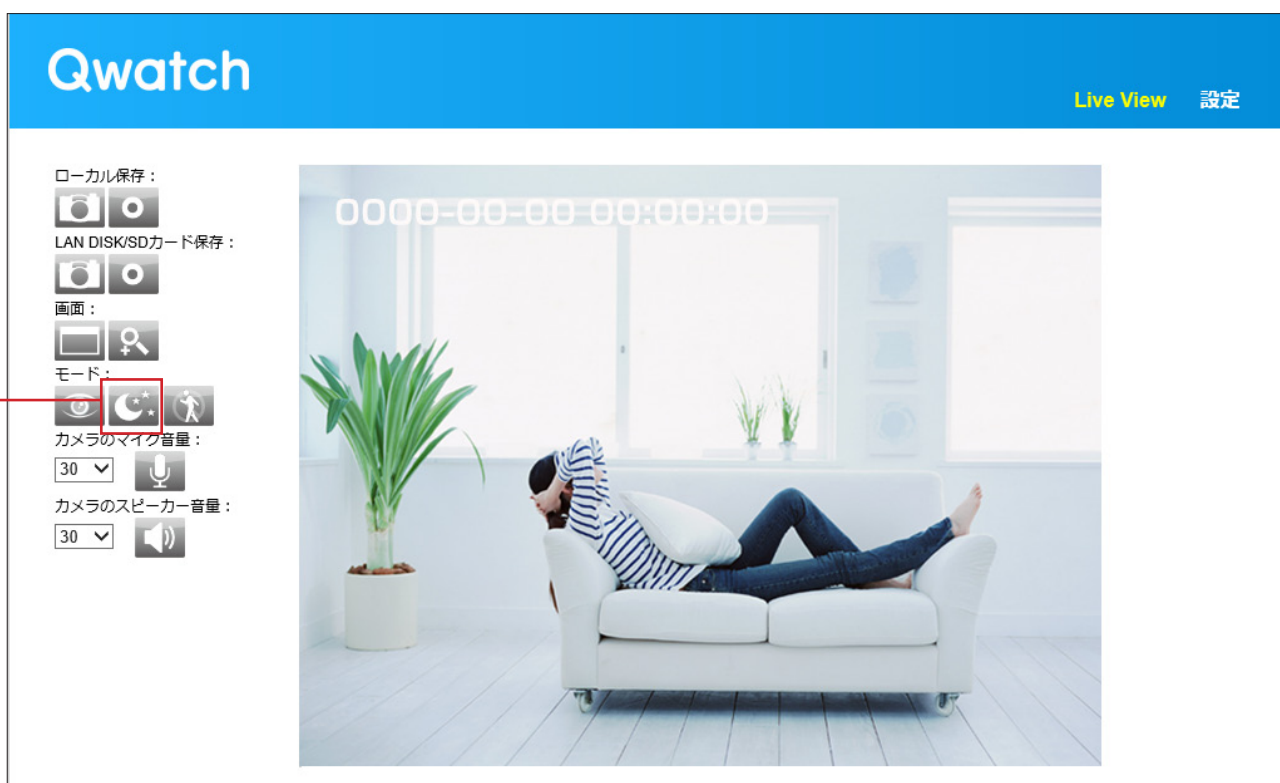
暗視モードをご利用になる前にピントをあわせてください

暗視モードではピントリングが熱く感じる場合があります。

事前にピントの調整をおこない、暗視モードご利用中はピントリングに触れないでください。

1 **WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

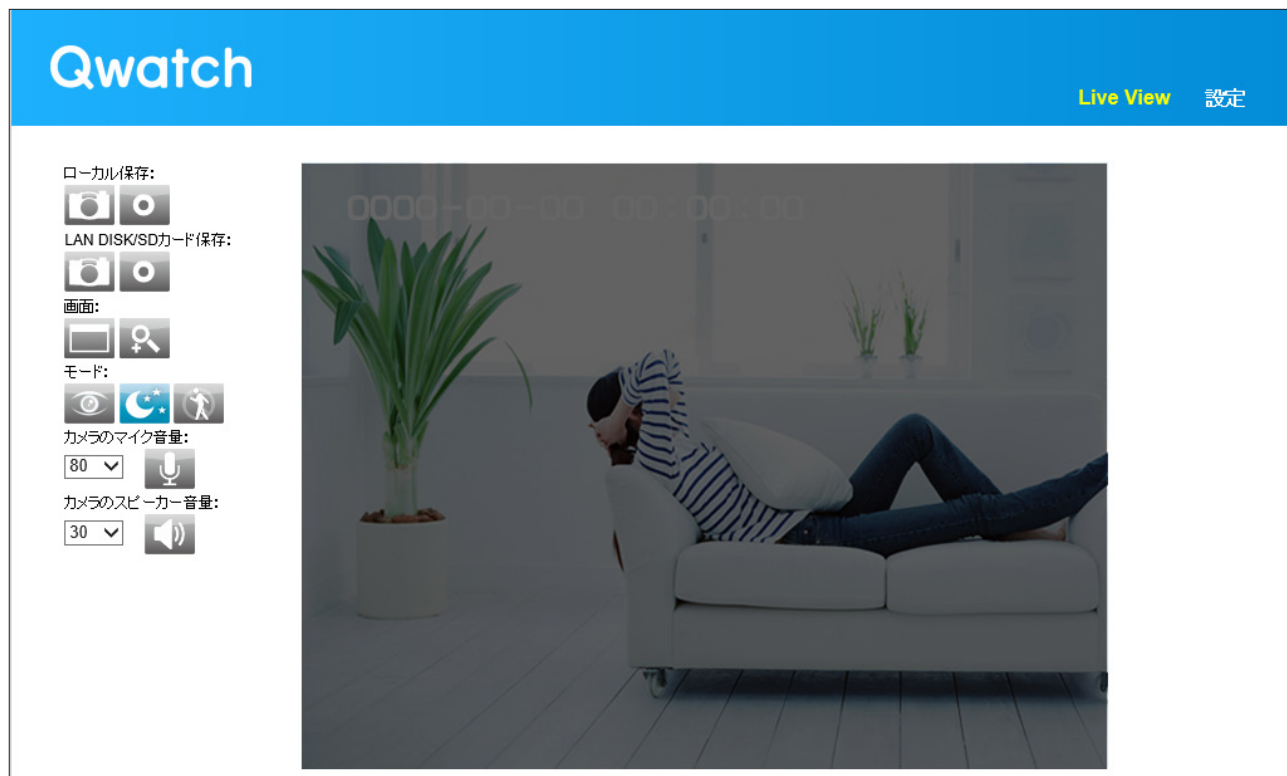
2 **暗視機能のアイコン** **をクリックし、有効** **にする**

ヒント

［設定］画面からでも、暗視機能への自動切り替え機能を有効にすることができます。

［ビデオ］→［暗視設定］からおこないます。（「暗視設定」P.66 参照）

2 **カメラの周りが暗くなると自動的に暗視状態 に切り替わります**

※ 暗視機能アイコン をクリックすると、暗視状態からの自動切り替え機能の[有効] ⇔[無効] を切り替えます。

※ 自動切り替え機能が[有効] になっていても、カメラの周りが明るい場合は暗視機能に切り替わりません。（ になりません。）

動作検知機能を利用する

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

画像の動きを検知し、画像を FTP サーバーに記録したり、メールでお知らせすることができます。
また、範囲設定をおこなうと、設定した範囲のみの動作検知がおこなえます。

準備>>>動作検知の設定をする

1 **WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**

※ 管理者権限(ユーザー名：admin)でログインしてください。

2 **① [設定]をクリック**

② [動作検知]→[動作検知設定]の順にクリック

③ [動作検知設定]の各項目を設定

④ [設定]をクリック

動作検知設定	
動作検知機能	[有効]を選択します。 ※[ビデオ]→[映像設定]で[解像度]を[HD(1280 × 720)]にすると動作検知機能を有効にできません。解像度を変更してご利用ください。(『映像設定』P.65 参照)
動作検知する間隔	動作検知する間隔を選択します。(1/3/5/10/15/20/30/45/60 秒から選択) ※ 例えば５秒に設定した場合、本製品は５秒ごとに設定した範囲内に動きがあるかを確認します。 ※ 撮影枚数が多くなりすぎた場合は、「動作検知する間隔」を長めに設定すると撮影枚数が減ります。
撮影方法	動作検知した際の撮影方法を、撮影しない、スナップショット(静止画)または動画から選択します。 ※ [動画]を選択した場合、録画できるファイル容量は最大 2MB です。(2MB になると自動で録画を停止します。)
動作検知時の録画時間	動作検知してから何秒間録画するかを選択します。(1/2/3/4/5/10 秒から選択)
メールで通知	動作検知した際の画像をメールに送信する場合は、[有効]を選択します。 ※ メール設定は本製品の設定画面の[基本設定]→[メール設定]でおこないます。(『メール設定』P.64 参照)
撮影したファイルの送信先	動作検知した際のファイルの送信先を選択します。

以上で動作検知設定は完了です。動作検知をご利用ください。(『動作検知機能を利用する』P.38 参照)
また、動作検知範囲などの詳細設定をおこなう場合は、以下のページをご参照ください。

▶ 準備>>>範囲設定をする・・・33 ページ
▶ 準備>>> FTP 設定をする・・・36 ページ
▶ 準備>>>スケジュール設定をする・・・35 ページ
▶ 準備>>>メール設定をする・・・37 ページ

準備>>>範囲設定をする

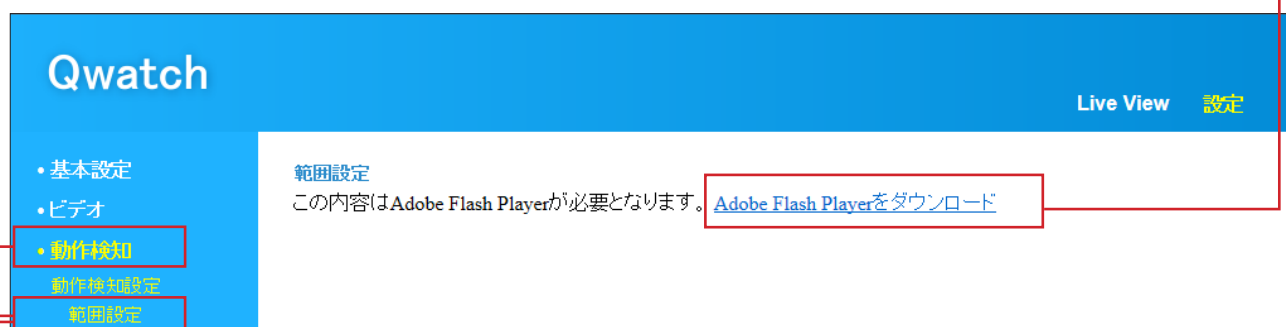
※ 範囲設定には Adobe Flash Player が必要です。

※ カメラアプリ「QwatchView」からは範囲設定できません。パソコンから設定画面を開き、設定してください。

1

① [動作検知]→[範囲設定]の順にクリック

② 以下の画面が表示された場合は、[Adobe Flash Player をダウンロード]をクリック

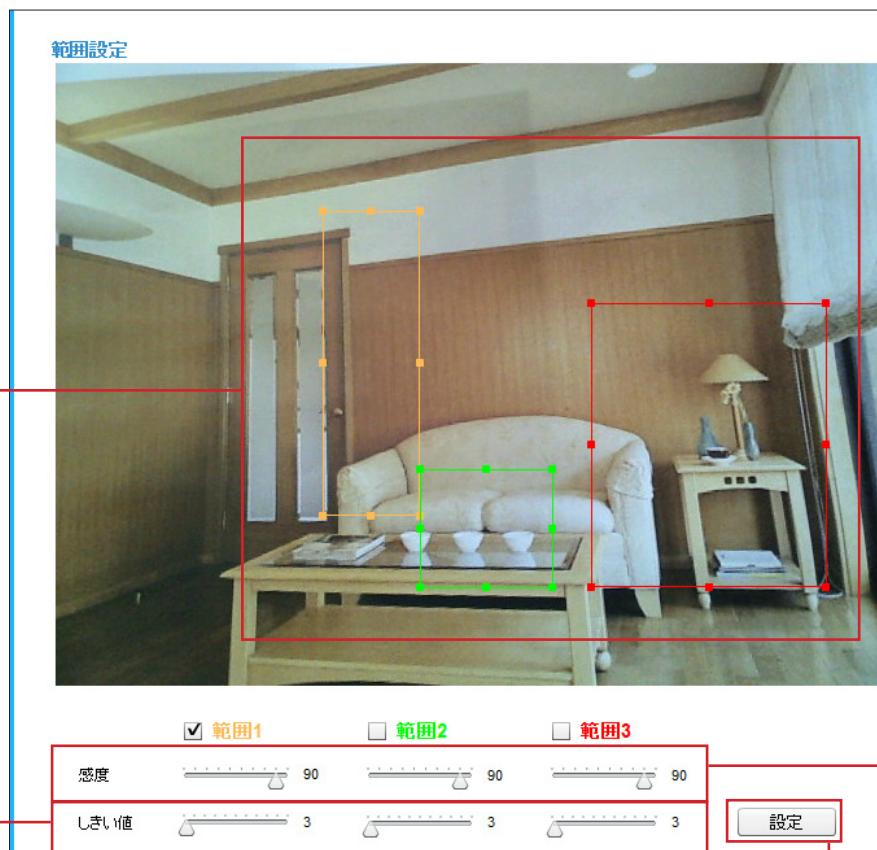
⇒ 画面の指示にしたがってインストール

③ Adobe Flash Player のインストールが完了したら、もう一度「設定範囲」メニューをクリック

2

① 映像の上でドラッグし、検知をおこなう範囲を設定

※ 検知対象の範囲を狭くすると、検知精度を上げることができます。

※ 範囲は 3 つまで設定できます。

※ タイムスタンプを含まないように範囲を設定してください。

② [感度]をドラッグし、検知をおこなう感度を設定

※ 感度を上げると、検知しやすくなります。検知しすぎる場合は、感度を下げます。

③ [しきい値]をドラッグし、検知をおこなう画像の変化量を設定

※ 値を小さくすると、より小さな変化でも検知することができます。

④ すべての範囲設定をおこなったら、[設定]をクリック

ヒント

ドアからの人の出入りを検知する場合

① **ドアの横の領域(人が通る部分)(前ページ画面例のオレンジ部分)を検出範囲として設定します。**

※ ドアを範囲に設定するとドアを開く瞬間に検知してしまい、ドアを開けた人の写真が撮影できません。

② **実際に検知されるかどうか、お試しください。**

※ 検知が早すぎる場合は、しきい値を大きくします。それでも検知が早すぎる場合は、感度を小さくします。

※ 検知されない場合は、しきい値を小さくします。それでも検知されない場合は、感度を大きくします。

以上で範囲設定は完了です。動作検知をご利用ください。(「動作検知機能を利用する」P.38 参照)

また、スケジュールなどの詳細設定をおこなう場合は、以下のページをご参照ください。

▶準備＞＞＞スケジュール設定をする・・・35 ページ　▶準備＞＞＞ FTP 設定をする・・・36 ページ

▶準備＞＞＞メール設定をする・・・37 ページ

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

準備>>>スケジュール設定をする

1

① [動作検知]→[スケジュール機能設定]の順にクリック

② [スケジュール機能設定]の各項目を設定

③ [設定]をクリック

スケジュール機能設定	
スケジュール機能	[有効]を選択します。
時間設定	動作検知を開始する時間帯を設定します。 ※ スケジュールの開始と終了は、3 分以上に設定してください。

以上でスケジュール設定は完了です。動作検知をご利用ください。(**「動作検知機能を利用する」P.38 参照****)**
また、保存先設定などの詳細設定をおこなう場合は、以下のページをご参照ください。

▶準備>>> FTP 設定をする・・・36 ページ
▶準備>>>メール設定をする・・・37 ページ

準備>>>FTP設定をする

1

① [動作検知]→[FTP 設定]の順にクリック

Qwatch

• 基本設定
• ビデオ
• 動作検知
動作検知設定
範囲設定
スケジュール機能設定
FTP設定
• 保存設定

FTP設定
FTPサーバー名:
ユーザー名:
パスワード:
ポート番号:
パス:
パッシブモード: ○有効 ◉無効
設定 テストファイルを送信

② [FTP 設定]の各項目を設定
③ [設定]をクリック

FTP 設定	
FTP サーバー名	FTP のサーバー名を入力します。(IP アドレス等)
ユーザー名	FTP のユーザー名を入力します。
パスワード	FTP のパスワード名を入力します。
ポート番号	FTP で使用するポート番号を入力します。(通常 21 番)
パス	FTP サーバー内のフォルダーを指定します。 ※ 下層のフォルダーを設定する場合は、"/" で区切ってください。 ※ フォルダーおよびファイルを含めたフルパスで 256 文字まで入力できます。 ※ 半角英数字で指定します。 (例：disk1 フォルダーの下の TS-WLC2 フォルダーを設定する場合、disk1/TS-WLC2 と入力)
パッシブモード	FTP が正常に通信できていない場合、[有効] を選択します。

ヒント

「テストファイルを送信」でエラーになってしまう場合は、「困ったときには」-「動作検知設定時、「テストファイルを送信」でエラーになってしまう」92 ページをご参照ください。

以上で FTP 設定は完了です。動作検知をご利用ください。(「動作検知機能を利用する」P.38 参照)
また、メール送信先の設定をおこなう場合は、以下のページをご参照ください。
▶ 準備＞＞＞メール設定をする・・・37 ページ

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

準備>>>メール設定をする

1

① [基本設定]→[メール設定]の順にクリック　② [メール設定]の各項目を設定

Qwatch

・基本設定
ネットワーク
無線設定
iobb.net設定
RTSP
時刻設定
メール設定
・ビデオ
・動作検知
・保存設定
・パン・チルト

メール設定

メールサービス:	Gmail
SMTPサーバー名:	smtp.gmail.com
SMTPポート番号:	465
宛先メールアドレス:	
送信元メールアドレス:	
SSL/TLS:	SSL v2/v3
SMTP認証:	◉有効 ○無効
アカウント:	
パスワード:	

設定　テストメールを送信

③ [設定]をクリック

メール設定	
メールサービス	手動設定 /Yahoo!/Gmail から、送信元メールに対応するメールサービスを選択します。
SMTP サーバー名	[手動設定]の場合は、使用する送信元メールの SMTP サーバー名を入力します。Yahoo!/Gmail の場合は、自動的に入力されます。
SMTP ポート番号	[手動設定]の場合は、使用する送信元メールの SMTP ポート番号を入力します。Yahoo!/Gmail の場合は、自動的に入力されます。
宛先メールアドレス	動作検知の通知を受け取る方のメールアドレスを入力します。(複数の宛先を設定する場合、";"で区切ってください。最大 127 文字まで可能です。)
送信元メールアドレス	送信元メールアドレス(Yahoo!/Gmail などのメールアドレス)を入力します。
SSL/TLS	送信元メールに対応する暗号化方式を選択します。(Yahoo!/Gmail の場合は自動的に選択されます。)
SMTP 認証	SMTP で認証をおこなう場合には有効にしてください。
アカウント	送信元メールのアカウント(ID)を入力します。
パスワード	送信元メールのパスワードを入力します。

ヒント

「テストメールを送信」でエラーになってしまう場合は、「困ったときには」-「動作検知設定時、「テストメールを送信」でエラーになってしまう」92 ページをご参照ください。

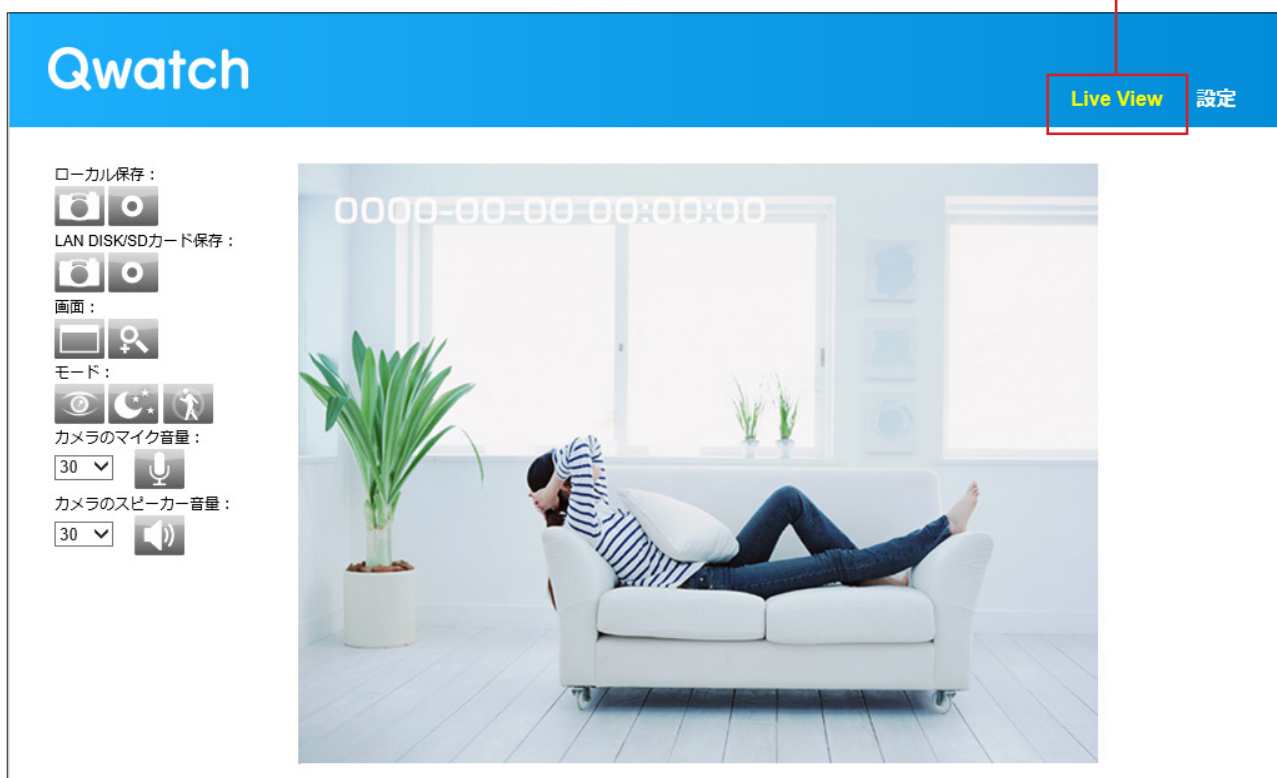
以上でメール設定は完了です。動作検知をご利用ください。(「動作検知機能を利用する」P.38 参照)

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

動作検知機能を利用する

1 **[Live View]をクリック**

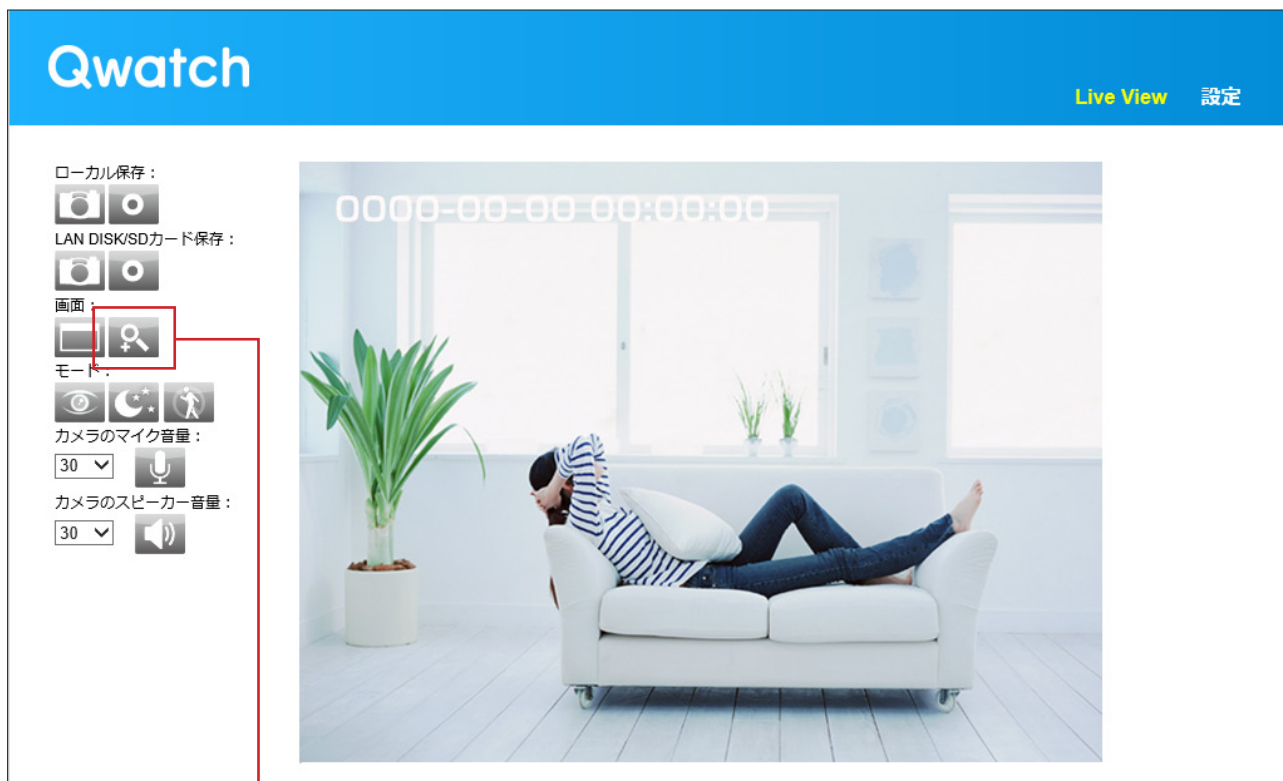
※ 動作検知アイコン をクリックすると、動作検知機能の
[有効] ⇔[無効] を切り替えます。

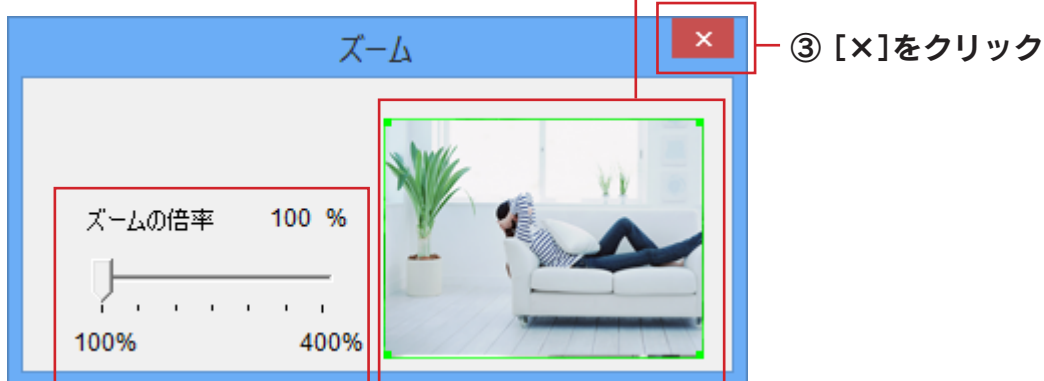
※ スケジュールを設定している場合は、設定した時間帯になると
自動的に動作検知機能が有効になります。

2 **動作を検知すると、設定したとおりに撮影をおこない保存、通知します。**

デジタルズームする

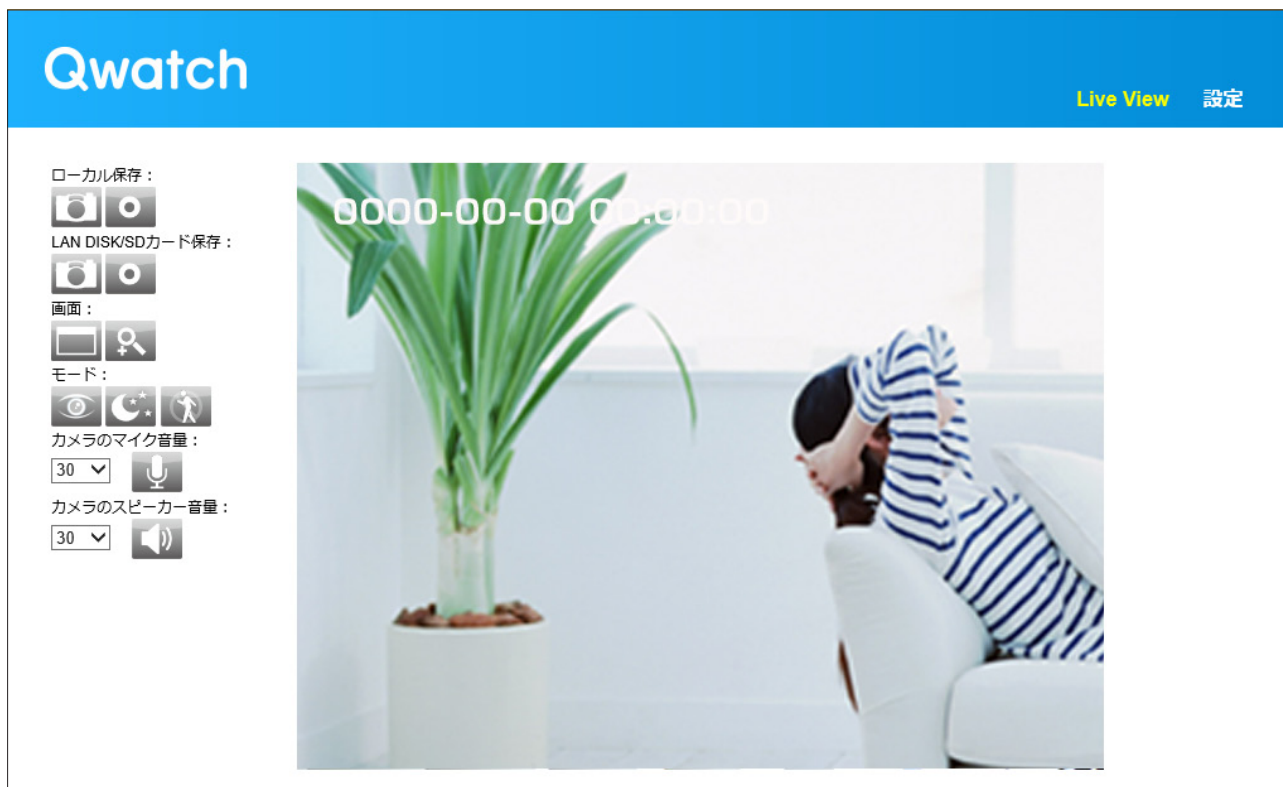
映像を拡大表示する手順を説明します。

※ 本機能は Internet Explorer でのみご利用可能です。

1 ① Internet Explorer でカメラのライブ映像を表示する

② （デジタルズーム）アイコンをクリック

2 ① マウスでドラッグしてズーム範囲を選択

③ [×]をクリック

② マウスでドラッグし、拡大率を選択

3 **拡大表示されたことを確認**

以上で、映像の拡大表示は完了です。

カメラを共有する（QR コードを作成する）

カメラアプリ「QwatchView」を使い、共有ユーザー権限でカメラを登録するための QR コードを作成することができます。カメラを家族や知人など他のユーザーと共有して利用する場合に、本手順で作成した QR コードをスマートフォンで読み取り、カメラを登録します。

・視聴期間や使用する機能を限定してカメラ映像を公開することができます。
　⇒ お店の様子やイベント会場等のリアルタイム配信に利用できます。

・作成した QR コードの画像をメール等に添付して送ることができます。
　⇒ 遠隔地にいる家族や知人でもカメラを登録できます。
　　（添付の「かんたん接続シート」を見せなくても登録ができます）

・本手順で登録したカメラは共有ユーザー権限になります。
　⇒ 共有ユーザーで登録したカメラは他のアカウントに変更できないため、セキュリティが守れます。

ヒント

事前にユーザーアカウントを追加/編集しておいてください

設定画面から［アカウント管理］→［ユーザー設定］でユーザーの追加がおこなえます。同じく［アカウント管理］→［権限設定］でアカウント毎に使用する機能を設定できます。（「アカウントの編集方法」P.51 参照）

1.QRコードを作成する

1 WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する

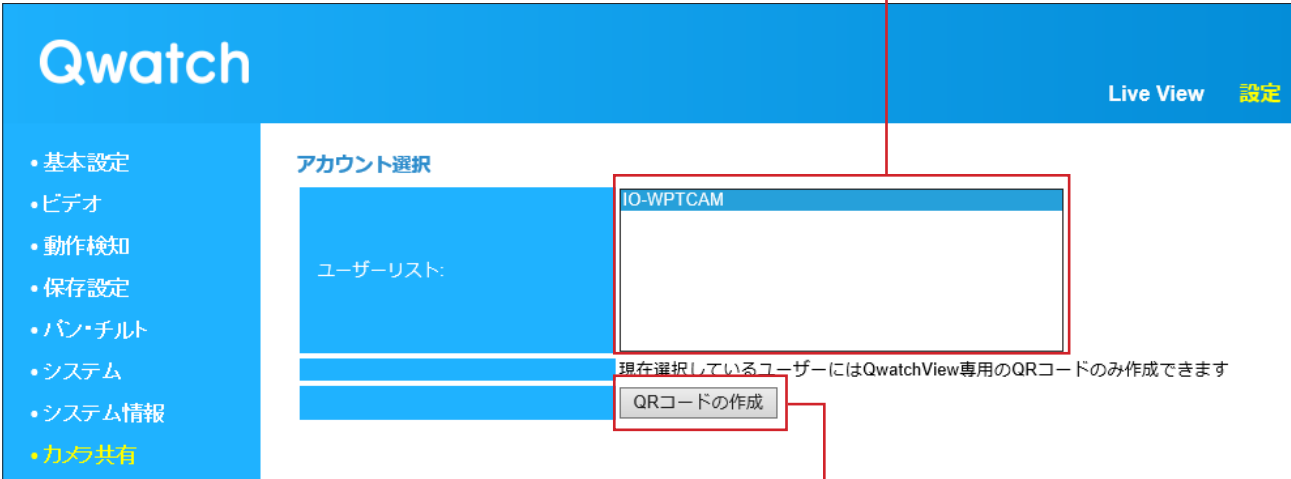
※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

2 ① ［設定］をクリック

② ［カメラ共有］をクリック

③ ［作成開始］をクリック

3

4

ログイン用 QR コードの作成	
MAC アドレス	カメラの MAC アドレスを入力します。
カメラ製品型番	カメラの型番を選択します。
ホスト名	カメラに添付の「かんたん接続シート」に記載の iobb.net の［ホスト名］を入力します。
視聴期間開始 - 終了	カメラの視聴を許可する（公開する）開始日時と終了日時を選択します。
許可する曜日	設定した視聴期間内でカメラの視聴を許可する（公開する）曜日を選択します。

5 **表示された QR コードを、以下の方法でカメラの利用者に配布する**

- **QR コード画面を利用者に見せる**
- **QR コードの画面を印刷する**
- **QR コードの画面をコピー（画面を保存）してメールで送る**

以上で QR コードの作成は完了です。

作成した QR コードは利用者のスマートフォン等で登録します。**「2. カメラを登録する」44 ページへお進みください。**

2.カメラを登録する

作成した QR コードで利用者がカメラを登録する手順を説明します。

※ iPhone/iPad/iPod touch は、iOS 6.0 以降かつカメラ付モデルに対応しています。
※ Andoird OS は、Ver 4.0 以降に対応しています。（ オートフォーカス機能のあるカメラを搭載した端末を推奨します。）
※ カメラ非搭載機種の場合は、作成した視聴制限付き QR コードはご利用いただけません。
※ 本手順（QR コネクト +）でカメラを登録すると、共有ユーザー権限になります。
※ 以下、画面例は iOS 7 です。

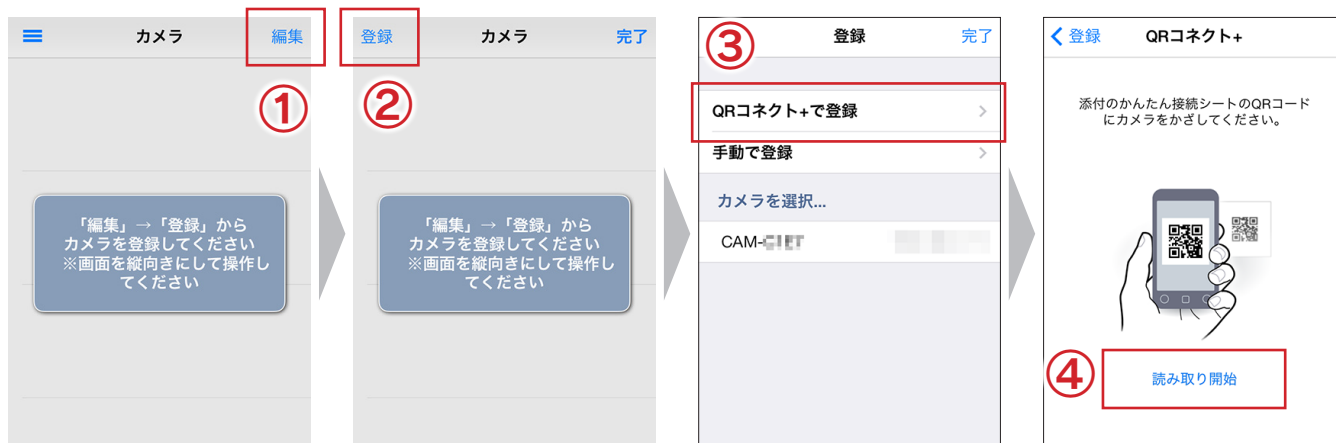
1 QR コードを読み込むか、[AppStore]または[Play ストア]（Google Play）、[Android マーケット]から QwatchView を検索してインストールする

▼ iOS の場合

▼ Android の場合

2 [QwatchView]を開く

3 [編集]→[登録]→[QR コネクト + で登録]→[読み取り開始]の順にタップ

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

4 QR コードを読み取り範囲内にかざして読み込む

5 ① iOS の場合：[登録]をタップ
Android の場合：端末の戻るボタンをタップ
② [完了]をタップ

カメラ映像が表示されます。以上でカメラの登録は完了です。
以降は、「QwatchView」を起動するだけで、モニタリングできます。

「QwatchView」の使用方法については、弊社Webページより「QwatchView」の画面で見るマニュアルをご覧ください

➡ http://www.iodata.jp/lib/manual/pdf2/qwatchview.pdf

詳細な設定をする

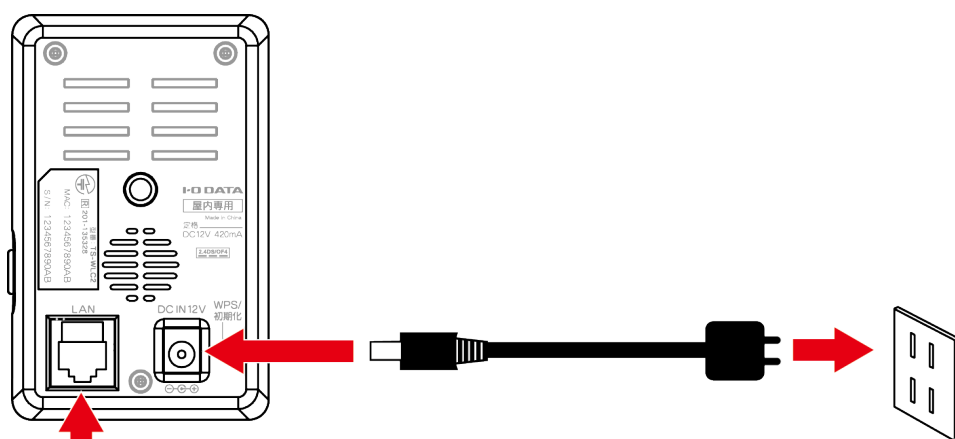
無線 LAN ルーターに手動で接続する

無線 LAN ルーターに WPS ボタンがない場合や、WPS ボタンで接続ができなかった場合は、本手順で無線 LAN ルーターに接続することができます。
一旦、本製品をルーターに有線 LAN 接続し、設定します。

※ 事前に無線 LAN ルーターの SSID と暗号キーを控えておいてください。
※ カメラと同じネットワーク上にあるパソコンから設定画面を開いて設定します。
※ カメラを一旦、ルーターに有線 LAN 接続して設定します。
※「TS-WLC2」を例に説明しています。ご利用のカメラにより LAN ポートの位置は異なります。

1

① 添付の AC アダプターをカメラの DC IN と電源コンセントに挿す

※ カメラが起動するまで約 40 秒かかります。

② LAN ケーブルを本製品の LAN ポートと
ルーターの LAN ポート（有線ポート）に挿す

※ LAN ケーブルは別途ご用意ください。

2

カメラの設定画面を開く（**「設定画面の開き方」P.93 参照****）**

※ すでに「Magical Finder」のインストールしている場合は次ページ手順 3 へお進みください。

3

① [設定]をクリック

② [基本設定]→[無線設定]の順にクリック

③ [検索]をクリック

④ 表示されたアクセスポイントのリストから接続したいルーターの SSID を選択

⑤ [プレシェアードキー]を入力 ※ 8 ～ 63 文字の ASCII 文字

⑥ [設定]をクリック

4 カメラから LAN ケーブルを外す

以上で無線 LAN ルーターへの手動接続設定は完了です。

IP アドレスの変更方法

カメラの IP アドレスを自動取得(DHCP)または固定設定に変更する方法を説明します。

※ カメラと同じネットワーク上にあるパソコンから設定画面を開いて設定します。

※ 出荷時設定は自動取得(DHCP)です。

1 **WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**

※ 管理者権限(ユーザー名:admin)でログインしてください。

2

① [設定]をクリック

② [基本設定]→[ネットワーク]の順にクリック

③ [ネットワークタイプ]を選択

④ ネットワークタイプで[IP アドレス固定設定]を選択した場合、「IP アドレス固定設定」内の各項目を設定

⑤ [設定]をクリック

IP アドレス固定設定	
IP アドレス	IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。
プライマリー DNS	使用する DNS を入力します。
セカンダリー DNS	使用する DNS を入力します。
HTTP ポート番号	本製品が使用するポート番号を入力します。 ※ 同じネットワーク内に別のカメラがある場合、HTTP ポート番号は一緒にしないでください。

以上で IP アドレスの変更は完了です。

管理者パスワードの変更方法

セキュリティのため、管理者権限のパスワードは出荷時設定より変更することをお勧めします。

※ 出荷時設定：カメラの MAC アドレス

※ カメラと同じネットワーク上にあるパソコンから設定画面を開いて設定します。

※ 管理者以外の権限のパスワード変更については、「アカウントの編集方法」P.51 参照

1 **WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

2 **① ［設定］をクリック**

② ［システム］→［システム設定］の順にクリック

③ ［管理者パスワード］と［パスワード再入力］に同じパスワードを入力

※ a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9 の文字を使用（半角入力）

④ ［設定］をクリック

ご注意

パスワードは半角英数字のみ使用してください

パスワードには a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9 の文字のみを使用してください。記号や文字は使用できません。

以上で管理者パスワードの変更は完了です。

ヒント

「QwatchView」をご利用の場合は、登録済みカメラを編集し、新しいパスワードを入力してください

カメラ別対応機能について

各機能の使い方

詳細な設定をする

設定画面のリファレンス

困ったときには

もくじに戻る

アカウントの編集方法

ユーザー権限のアカウントの追加や削除、使用権限の編集がおこなえます。

※ カメラと同じネットワーク上にあるパソコンから設定画面を開いて設定します。

※ 管理者権限の追加や削除はおこなえません。また管理者権限のパスワード変更は「管理者パスワードの変更方法」50 ページをご参照ください。

※ 出荷時状態で登録されているオペレーターのユーザーアカウントを削除または編集すると、カメラに添付の「かんたん接続シート」上の QR コードからのカメラの登録はおこなえなくなります。

アカウントの追加/編集/削除する

[ユーザー設定]メニューでは、ユーザー権限のアカウントの追加やパスワードの変更、アカウントの削除がおこなえます。

1 **WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**

※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

2 **① [設定]をクリック**

② [アカウント管理]→[ユーザー設定]の順にクリック

③ アカウントの追加 / 編集 / 削除をおこないます

ユーザー設定	
ﾕｰｻﾞｰﾘｽﾄ	現在登録されているユーザー権限のアカウントのユーザー名を表示します。
追加	ユーザー権限のアカウントが追加できます。[追加]をクリックすると、ユーザー名とパスワードの登録画面が表示されます。※ パスワードには a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9 の文字を使用（半角入力）
編集	パスワードの変更がおこなえます。[ユーザーリスト]からユーザー名を選択し、[編集]をクリックすると、パスワードの変更画面が表示されます。※ パスワードにはa～z、A～Z、0～9の文字を使用（半角入力）
削除	[ユーザーリスト]からユーザー名を選択し、[削除]をクリックすると選択したアカウントを削除することができます。

ご注意

パスワードは半角英数字のみ使用してください

パスワードには a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9 の文字のみを使用してください。記号や文字は使用できません。

以上でアカウントの追加 / 編集 / 削除は完了です。

アカウントの権限設定をする

[権限設定]メニューでは、アカウントごとに使用を許可する機能を設定することができます。

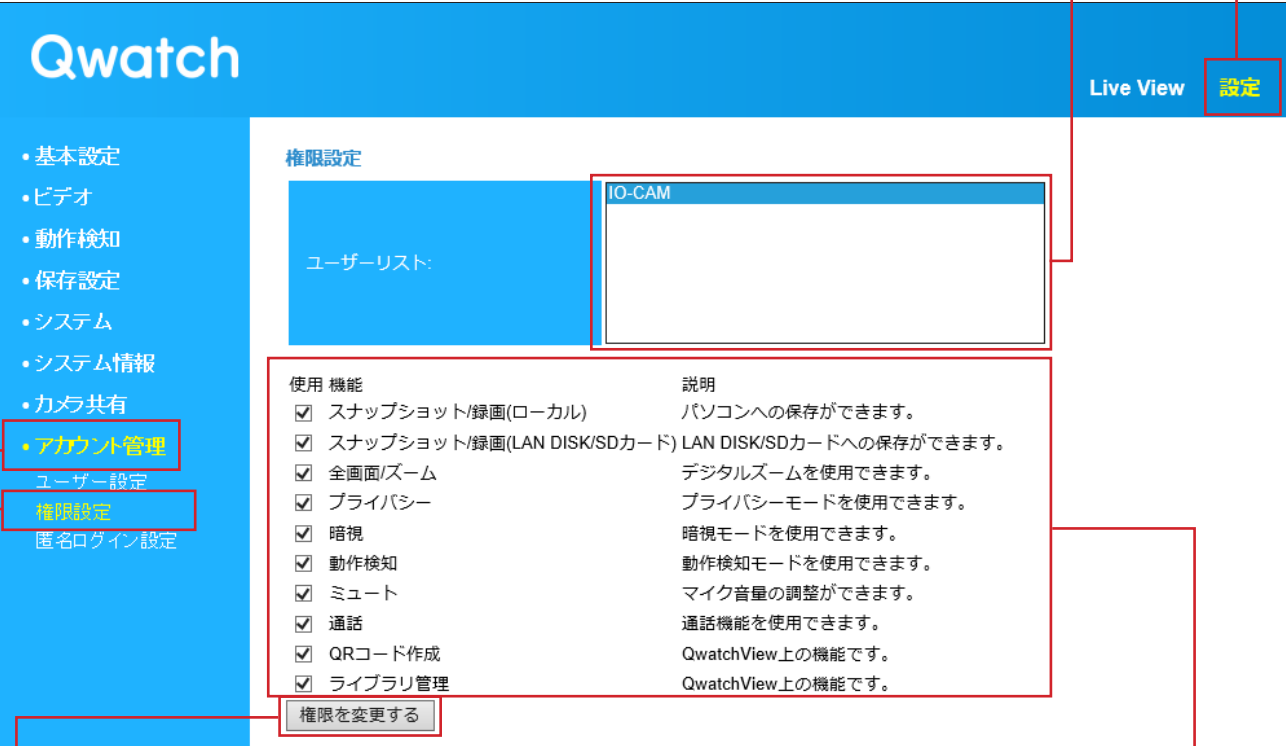
1 **WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**

※ 管理者権限(ユーザー名：admin)でログインしてください。

2

① [設定]をクリック

② [アカウント管理]→[権限設定]の順にクリック

③ [ユーザーリスト]よりアカウントを選択

④ 使用を許可する機能にチェックをつけ、許可しない機能のチェックを外す

⑤ [権限を変更する]をクリック ⇒ 以上でアカウントの権限変更は完了です。

使用機能	
スナップショット / 録画(ローカル)	ローカルドライブへスナップショットの保存や映像の録画を許可します。
スナップショット / 録画(LAN DISK/ SD カード)	LAN DISK や SD カードへスナップショットの保存や映像の録画を許可します。
パン・チルト / プリセット / パンチルト反転	パン・チルトとプリセットの操作ができます。
全画面 / ズーム	全画面表示やズームができます。
パトロール	パトロール機能が使用できます。
プライバシー	プライバシー機能が使用できます。
暗視	暗視機能が使用できます。
動作検知	動作検知機能のオン / オフがおこなえます。
ミュート	マイク音量の調整がおこなえます。
通話	通話機能を使用できます。
QR コード作成	QwatchView で共有ユーザー用の QR コードを作成できます。
ライブラリ管理	QwatchView のライブラリメニューから SD カードや LAN DISK 内のデータを確認することができます。

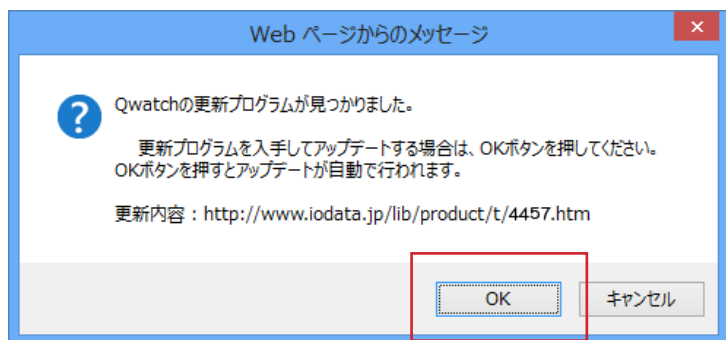
ファームウェアのバージョンアップ方法

カメラのファームウェアのバージョンアップ方法を説明します。

※ カメラを一旦、有線 LAN ルーターに接続して設定してください。
※ カメラと同じネットワーク上にあるパソコンから設定画面を開いて設定します。
※ 録画中の場合は、停止してからファームウェアのバージョンアップをおこなってください。

ご注意
ファームウェアのアップデート中にカメラの電源を切らないでください。
カメラが故障します。

自動更新する場合（出荷時設定）

ファームウェアの自動更新が[有効]になっている場合は、1 日 1 回、最新版のファームウェアがないかチェックし、自動的に更新をおこないます。
「更新プログラムが見つかりました」のメッセージが表示された場合は[OK]をクリックし、更新してください。（インターネット接続環境が必要です）

手動更新する場合

自動更新を[無効]に設定している場合または手動でバージョンアップをおこなう場合は、本手順で更新してください。

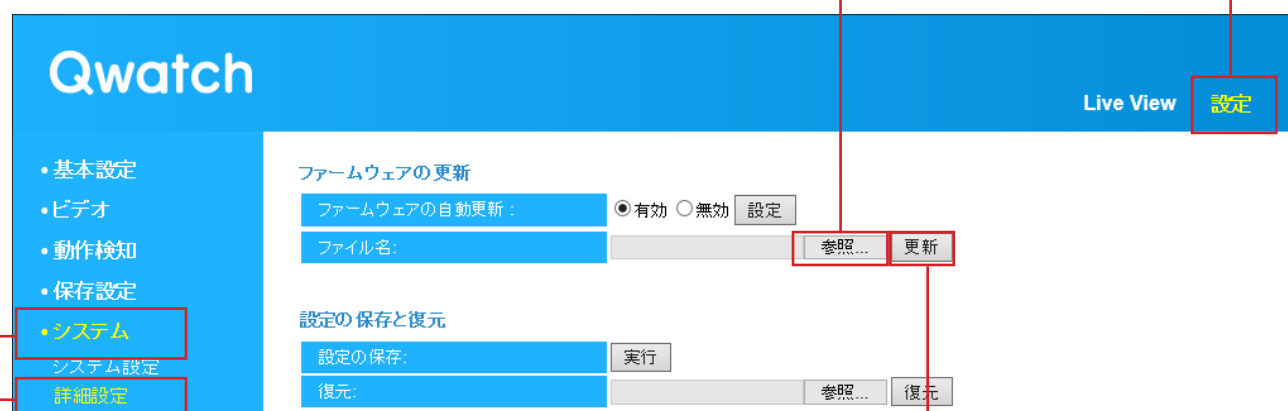
1 ① 弊社サポートライブラリ http://www.iodata.jp/lib/ にアクセスし、カメラの型番を検索します。
② ご利用のパソコンの OS をクリックします。
③ ファームウェアの更新ファイルのダウンロードボタンをクリックします。
⇒ 画面の指示に従ってダウンロードします。

2 **WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**
※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

3

① [設定]をクリック

② [システム]→[詳細設定]の順にクリック

③ [参照]をクリックし、手順 1. で解凍したファームウェアのアップデートファイル[xxxxxx.bin](xxxxxx は英数字)の場所を指定

④ [更新]をクリック

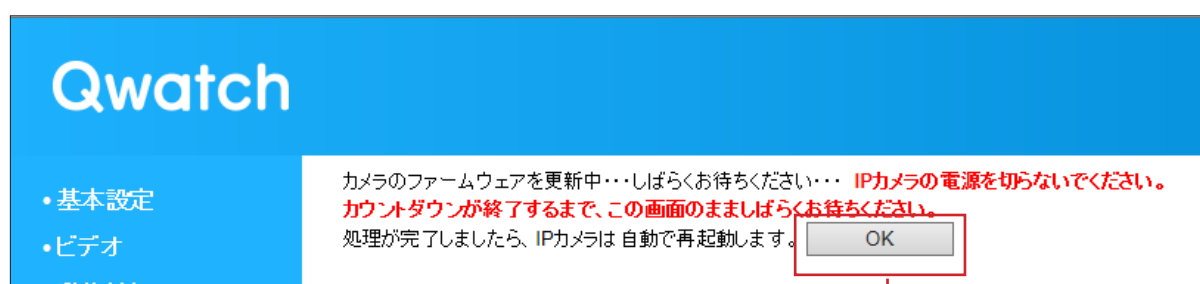
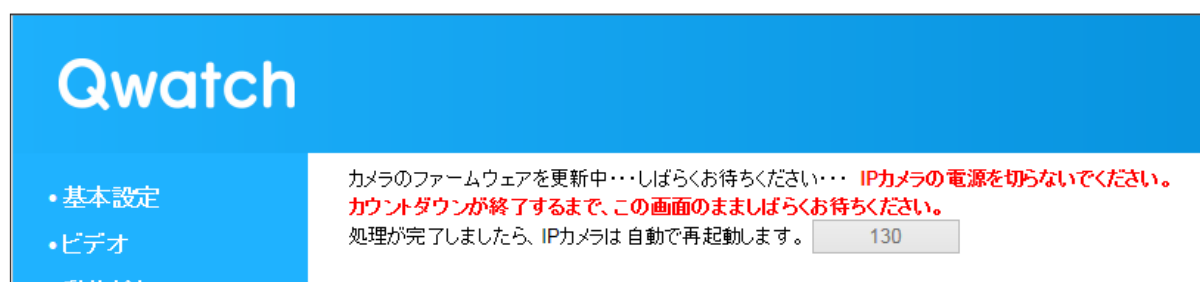
4

① カウントダウンが終了するまで待つ

Qwatch

• 基本設定

• ビデオ

カメラのファームウェアを更新中･･･しばらくお待ちください･･･ IPカメラの電源を切らないでください。
カウントダウンが終了するまで、この画面のまましばらくお待ちください。
処理が完了しましたら、IPカメラは 自動で再起動します。 OK

② [OK]をクリック

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

5

① [システム情報]をクリック

② ファームウェアバージョンが更新されていることを確認

③ Internet Explorer をご利用の場合は、ActiveX のバージョンが最新であることを確認

※ [コントロールパネル]→[プログラムのアンインストール]にある[Internet Camera ActiveX x.x.x.x]のバージョンと一致していることを確認します。(x には数字が入ります)

以上でファームウェアのバージョンアップは完了です。

ヒント

Internet Explorerをご利用の場合でActiveXのバージョンが最新ではない場合は、以下の手順でActiveXをインストールしなおしてください。

① [コントロールパネル]→[プログラムのアンインストール]を開き、[Internet Camera ActiveX x.x.x.x]を削除します。(x には数字が入ります)
② カメラにアクセスし、[ActiveX のダウンロード]をクリックしてインストールします。

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

出荷時設定に戻す方法

カメラを出荷時設定に戻す方法を説明します。
カメラの設定画面またはカメラ本体にあるスイッチのいずれかの方法で戻すことができます。

設定画面で戻す場合

1 **WEB ブラウザーでカメラのライブ映像を表示する**
※ 管理者権限（ユーザー名：admin）でログインしてください。

2 **① ［設定］をクリック**
② ［システム］→［詳細設定］の順にクリック

③ ［出荷時設定］を選択
※ ［基本設定］メニューの［ネットワーク］メニュー内にある設定を保持し、その他の設定を出荷時設定に戻したい場合は、［ネットワーク設定を保持］を選択します。

④ ［初期化］をクリック

カメラが再起動します。
以上で出荷時設定に戻りました。

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

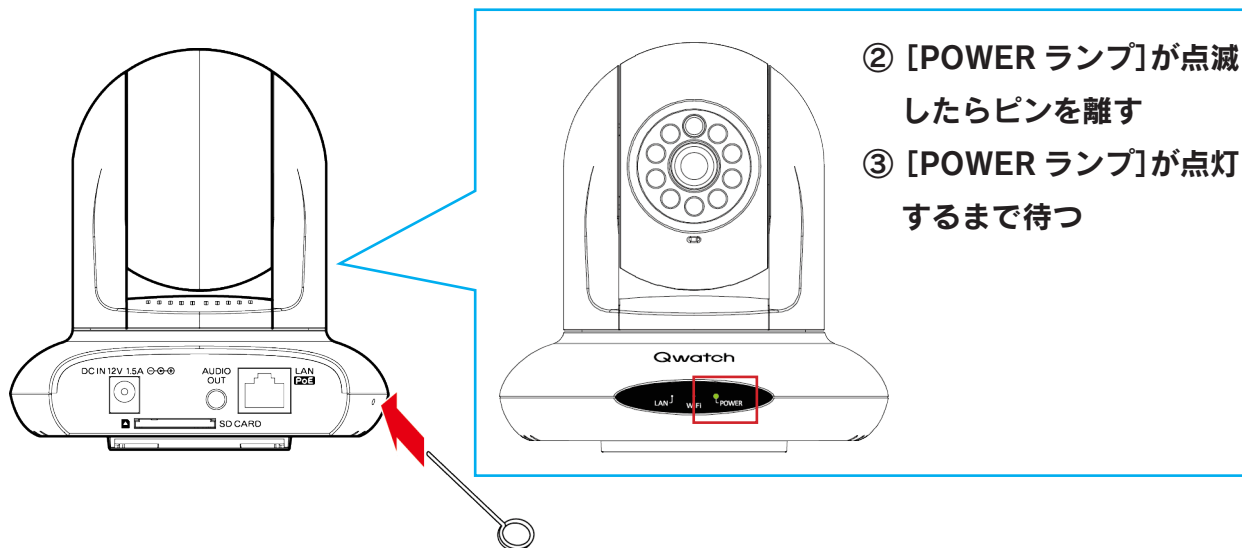
カメラのスイッチで戻す方法

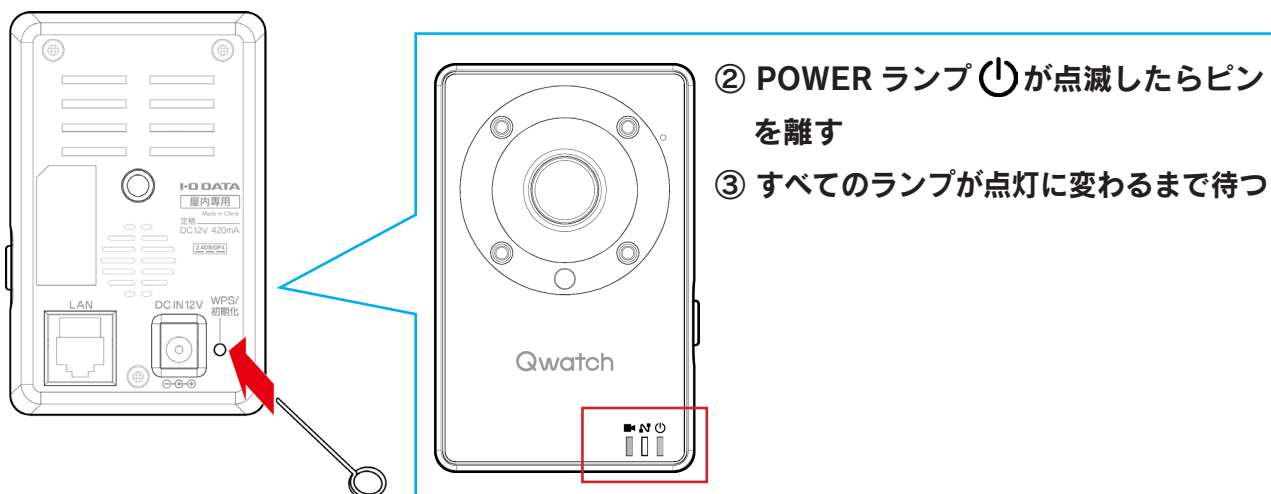
1 **カメラから LAN ケーブルを外す**

※ 電源は入った状態で操作します。

2

▌TS-PTCAM、TS-WPTCAMの場合

① カメラの[RESET スイッチ]を細いピンなどで約 10 秒間押す

▌TS-WLC2、TS-WLCEの場合

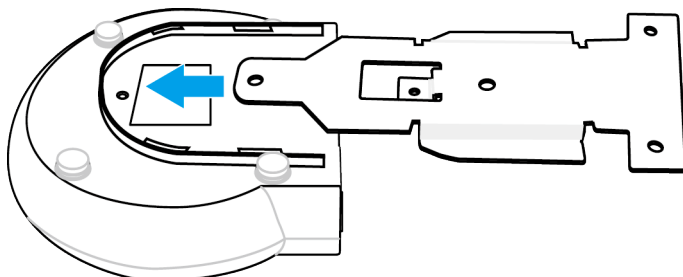
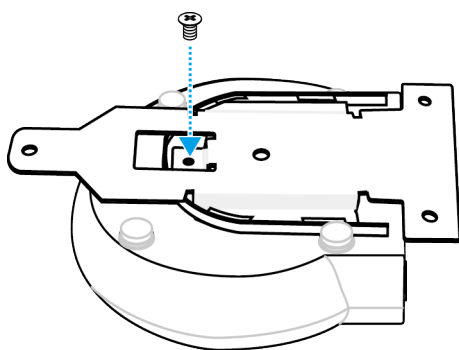
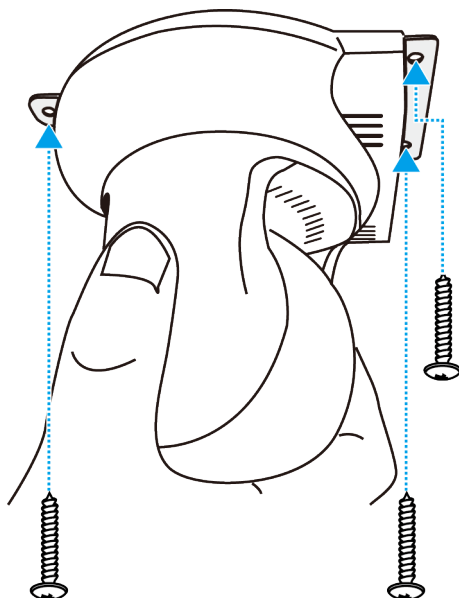
① カメラの[WPS/ 初期化スイッチ]を細いピンなどで約 10 秒間押す

カメラが再起動します。
以上で出荷時設定に戻りました。

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

天井に固定する方法

TS-PTCAM、TS-WPTCAM では以下の方法でカメラに添付のネジと台座で天井に固定することができます。

※ TS-WLC2、TS-WLCE をご利用の場合は、「壁に固定する場合」と同じ方法で天井にも固定できます。(添付の「設置ガイド」または「セットアップガイド - パソコンで利用する」など参照)

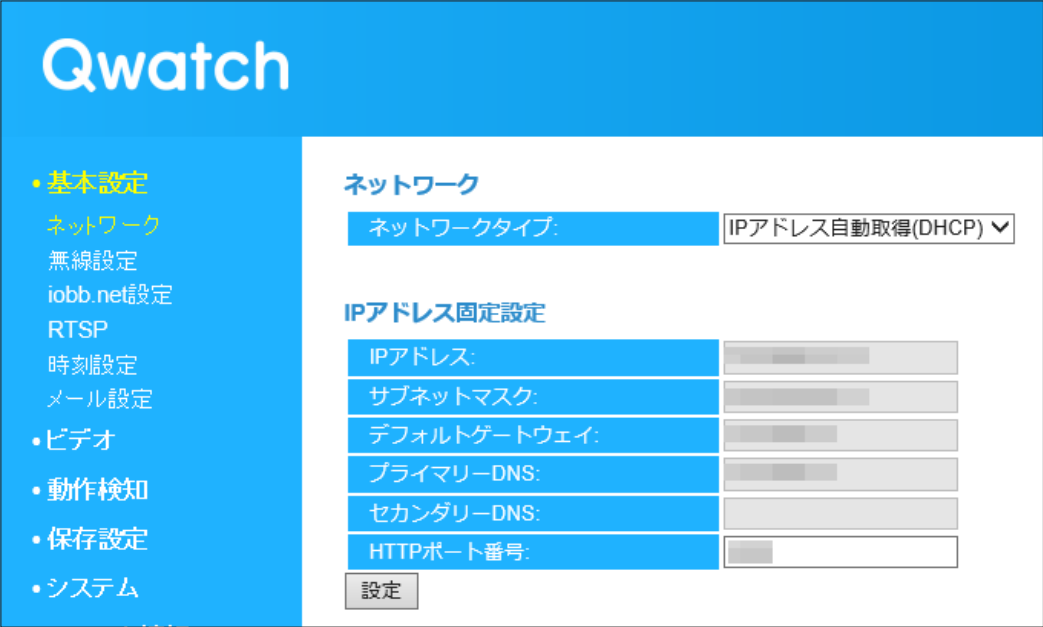
1　添付の台座を本製品の底に差し込む

2　ネジで 1 カ所固定する

3　天井にネジで 3 カ所固定する

※ 石こうボードなど、中空の壁に取り付ける場合は、落下しないよう適切な器具で固定してください。

ヒント

Live View画面で「パン・チルト反転」をオンにすると動作方向が反転します

映像を 180°反転させるには、カメラの設定画面から[ビデオ]→[映像設定]→[カメラ設置角度]で[180°]を選択します。(「映像設定」P.65 参照)

以上で天井への設置は完了です。

設定画面のリファレンス

ネットワーク

ネットワーク設定	
ネットワークタイプ	本製品の IP アドレスの設定方法を、IP アドレス自動取得（DHCP）/IP アドレス固定設定から選択します。 ※ ネットワークの設定にあわせて設定します。
IP アドレス固定設定 ※上記「ネットワークタイプ」で［IP アドレス固定設定］を選択した場合のみ以下を設定します。	
IP アドレス	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。
プライマリー DNS	使用する DNS を設定します。
セカンダリー DNS	使用する DNS を設定します。
HTTP ポート番号	本製品が使用するポート番号を設定します。 ※ 同じネットワーク内に別のカメラがある場合、HTTP ポート番号は一緒にしないでください。

無線設定

Qwatch

Live View　設定

- 基本設定
  - ネットワーク
  - 無線設定
  - iobb.net設定
  - RTSP
  - 時刻設定
  - メール設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- システム
- システム情報
- カメラ共有
- アカウント管理

無線設定

無線LAN接続:	◉有効 ○無効
ネットワークタイプ:	インフラストラクチャ
モード:	2.4GHz (B+G+N)
使用する帯域:	20/40 MHz
無線LANの検索:	検索　検索ボタンを押してアクセスポイントのリストを表示してください。
SSID:	
チャンネル:	自動
暗号化方式:	WPA2-PSK(AES)
プレシェアードキー:	**
WEPキーの種類:	16進
WEPキーの長さ:	64-Bit
デフォルトキー:	1
WEPキー 1:	
WEPキー 2:	
WEPキー 3:	
WEPキー 4:	

設定

WPS

プッシュボタンで設定:	PBC開始

<table>
<tr><td colspan="4">無線設定</td></tr>
<tr><td>無線 LAN 接続</td><td colspan="3">有効 / 無効を選択します。</td></tr>
<tr><td>ネットワークタイプ</td><td colspan="3">無線接続モードを設定します。インフラストライクチャモードのみ選択可能です。</td></tr>
<tr><td>モード</td><td colspan="3">接続する通信規格を選択します。</td></tr>
<tr><td>使用する帯域</td><td colspan="3">使用する帯域を選択します。</td></tr>
<tr><td>無線 LAN の検索</td><td colspan="3">［検索］押すと、無線 LAN ルーターを検索します。</td></tr>
<tr><td>SSID</td><td colspan="3">接続する無線 LAN ルーターの SSID を入力します。</td></tr>
<tr><td>チャンネル</td><td colspan="3">接続する無線 LAN ルーターのチャンネル（自動のみ）が表示されます。　※選択はできません。</td></tr>
<tr><td>暗号化方式</td><td colspan="3">接続する無線 LAN ルーターの暗号化方式を選択します。</td></tr>
<tr><td>プレシェアードキー</td><td colspan="3">暗号化方式が［WPA-PSK(TKIP)］または［WPA2-PSK(AES)］の場合、暗号キーを入力します。
※ 8 ～ 63 文字の ASCII 文字</td></tr>
<tr><td>WEP キーの種類</td><td colspan="3">暗号化方式が［WEP］の場合、WEP キーの種類（16 進 /ASCII）を選択します。</td></tr>
<tr><td>WEP キーの長さ</td><td colspan="3">暗号化方式が［WEP］の場合、WEP キーの長さ（64Bit/128Bit）を選択します。</td></tr>
<tr><td>デフォルトキー</td><td colspan="3">暗号化方式が［WEP］の場合、WEP キーのデフォルトキー番号を選択してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">WEP キー 1 ～ 4</td><td colspan="3">暗号化方式が［WEP］の場合、暗号キーを入力します。デフォルトキーで選択されたキーを入力してください。
※ 16 進（16 進数）の場合は 0 ～ 9 または A ～ F の文字列
※ ASCII の場合は半角英数字</td></tr>
<tr><td></td><td>ASCII</td><td>16 進</td></tr>
<tr><td>64-Bit</td><td>10 文字</td><td>5 文字</td></tr>
<tr><td>128-Bit</td><td>26 文字</td><td>13 文字</td></tr>
<tr><td colspan="4">WPS</td></tr>
<tr><td>プッシュボタン設定</td><td colspan="3">プッシュボタンを押して WPS 接続をおこないます。　※［PBC 開始］を押した後、2 分間待受けします。</td></tr>
</table>

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

iobb.net設定

<table>
<tr><th colspan="3">iobb.net 設定</th></tr>
<tr><td>iobb.net</td><td colspan="2">プリセット / 有効 / 無効を選択します。
（出荷時設定：プリセット）
※［有効］または［無効］にすると、スマートフォン / タブレットから QR コネクト＋でカメラを登録することができません。</td></tr>
<tr><td>シリアルナンバー</td><td colspan="2">［iobb.net］の設定を［有効］にした場合、本製品のシリアル番号（S/N）を入力します。
※ 大文字英数字 12 桁
※ シリアル番号（S/N）は ユーザー ID に該当します。
※ 本製品のシリアル番号（S/N）は、本製品背面に貼られているシールにある英数字です。（例：ABC1234567ZX）</td></tr>
<tr><td>パスワード</td><td colspan="2">［iobb.net］の設定を［有効］にした場合、iobb.net に登録したパスワードを入力します。
※ 使用可能な文字数は、6 ～ 8 文字
※ 事前に WEB ブラウザーより「http://ioportal.iodata.jp/」にアクセスし、iobb.net のユーザー登録をおこなってください。</td></tr>
<tr><td>ホスト名</td><td colspan="2">iobb.net に登録したホスト名を入力します。
※ xxxx.iobb.net の場合、「xxxx」のみ入力します。
※ 出荷時設定：wcam-（半角英数字 7 文字）.iobb.net</td></tr>
<tr><td>ステータス</td><td colspan="2">現在の状態が表示されます。
※［設定］をクリック後、ステータスが反映されるまで、しばらく時間がかかります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">UPnP 機能</td><td colspan="2">有効 / 無効を選択します。</td></tr>
<tr><td>有効</td><td>UPnP 対応ルーターの UPnP 機能を利用して、ルーターへ接続します。</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>ルーターのポートフォワーディングの設定を手動でおこなってください。
ルーターが UPnP に非対応の場合は無効にしてください。</td></tr>
</table>

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

RTSP

RTSP 設定	
RTSP ポート	カメラ映像を配信するポートを設定します。 Internet Explorer と QwatchView は、設定した RTSP ポート番号を使用して映像を表示します。 ※ 手動でポートを開放される場合は、本ポート番号の開放も忘れずにおこなってください。 ※ 同じネットワーク内に別のカメラがある場合、RTSP ポート番号は一緒にしないでください。
MJPEG RTSP Path	MJPEG の映像配信に使用するパスを変更できます。 (例) rtsp:// IP:port 番号 / [変更したパス] .sdp
H.264 RTSP Path	H264 の映像配信に使用するパスを変更できます。 (例) rtsp:// IP:port 番号 / [変更したパス] .sdp
アクセス制限	設定した RTSP Path へアクセスした場合に、ユーザ認証をおこなうかどうかを設定します。 ［有効］の場合、ユーザ認証をおこないます。 ※ 既に WEB ブラウザーまたは QwatchView からログインをおこなっている場合は、再度ユーザ認証を聞かれることはありません。

時刻設定

時刻設定		
モード	時刻の設定方法を選択します。	
	NTP サーバーとの同期	NTP サーバーより時間を取得し、時間を設定します。
	手動設定	手動で時間を設定します。時間は電源を入れなおした場合、リセットされます。
日時設定	モードで［手動設定］を選択した場合、日時を入力します。 ［PC の時刻に設定］を押すと、パソコンの時刻が入力されます。	
NTP サーバー	NTP サーバーの URL または IP アドレスを入力します。	

メール設定

Qwatch

• 基本設定
ネットワーク
無線設定
iobb.net設定
RTSP
時刻設定
メール設定
• ビデオ
• 動作検知
• 保存設定
• システム

メール設定

メールサービス:	手動設定
SMTPサーバー名:	
SMTPポート番号:	
宛先メールアドレス:	
送信元メールアドレス:	
SSL/TLS:	なし
SMTP認証:	○有効 ◉無効
アカウント:	
パスワード:	

設定　テストメールを送信

メール設定	
メールサービス	手動設定 /Yahoo!/Gmail から、送信元メールに対応するメールサービスを選択します。
SMTP サーバー名	［手動設定］の場合は、使用する送信元メールの SMTP サーバー名を入力します。 Yahoo!/Gmail の場合は、自動的に入力されます。
SMTP ポート番号	［手動設定］の場合は、使用する送信元メールの SMTP ポート番号を入力します。 Yahoo!/Gmail の場合は、自動的に入力されます。
宛先メールアドレス	動作検知の通知を受け取る方のメールアドレスを入力します。 （複数の宛先を設定する場合、“；” で区切ってください。最大 127 文字まで可能です。）
送信元メールアドレス	送信元メールアドレス（Yahoo!/Gmail などのメールアドレス）を入力します。
SSL/TLS	送信元メールに対応する暗号化方式を選択します。（Yahoo!/Gmail の場合は自動的に選択されます。）
SMTP 認証	SMTP で認証をおこなう場合には有効にしてください。
アカウント	送信元メールのアカウント（ID）を入力します。
パスワード	送信元メールのパスワードを入力します。

映像設定

Qwatch

Live View　設定

- 基本設定
- ビデオ
  - 映像設定
  - 表示設定
  - 暗視設定
  - プライバシー設定
  - 音量設定
- 動作検知
- 保存設定
- システム

映像設定

フォーマット：	◉H264 ○MJPEG
解像度：	VGA (640 x 480)
最大ビットレート：	1Mbps
最大フレームレート：	15
	実際のフレームレートは、ネットワークの状態や設置環境の明るさに応じて変化します。
周波数：	東日本（50Hz）
カメラ設置角度：	0°
タイムスタンプ：	ON

設定

映像設定		
フォーマット	カメラ映像のファイル形式を H264/MJPEG から選択します。 ※ H264 に対応していないブラウザでは、MJPEG で表示されます。また、HD の解像度を選択した場合、動作検知が無効になります。	
解像度	フォーマットで「H264」を選択した場合	HD(1280x720)/VGA(640x480)/QVGA(320x240) から選択します。
	フォーマットで「MJPEG」を選択した場合	VGA(640x480)/QVGA(320x240) から選択します。
画質	フォーマットで「MJPEG」を選択した場合に設定します。 最高 / 高 / 普通 / 低 / 最低から選択します。	
最大ビットレート	フォーマットで「H264」を選択した場合、最大ビットレートを選択します。	
最大フレームレート	最大フレームレートを選択します。 ※ 実際のフレームレートは、ネットワークの状態や設置環境の明るさに応じて変化します。 ※ 最大フレーム　レートを “5” に設定すると、画面がちらついて見える場合があります。その場合は、最大フレームレートをあげてください。	
周波数	東日本（50Hz）/ 西日本（60Hz）から選択します。	
カメラ設置角度	0° / 180° から選択します。 天井などに設置した場合（逆さまに設置した場合）は 180° を選択します。	
タイムスタンプ	ON/OFF から選択します。 ライブ映像に日時情報を表示しない場合は、OFF を選択します。	

表示設定

表示設定	
輝度	映像の明るさを設定します。
コントラスト	明暗の差を設定します。
彩度	映像の色の濃さを設定します。
鮮明度	映像の鮮やかさを設定します。

暗視設定

暗視設定	
自動切り替え機能	有効 / 無効を選択します。 ［有効］を選択すると、周りの明るさを感知し、自動的に暗視モードに切り替わります。

プライバシー設定

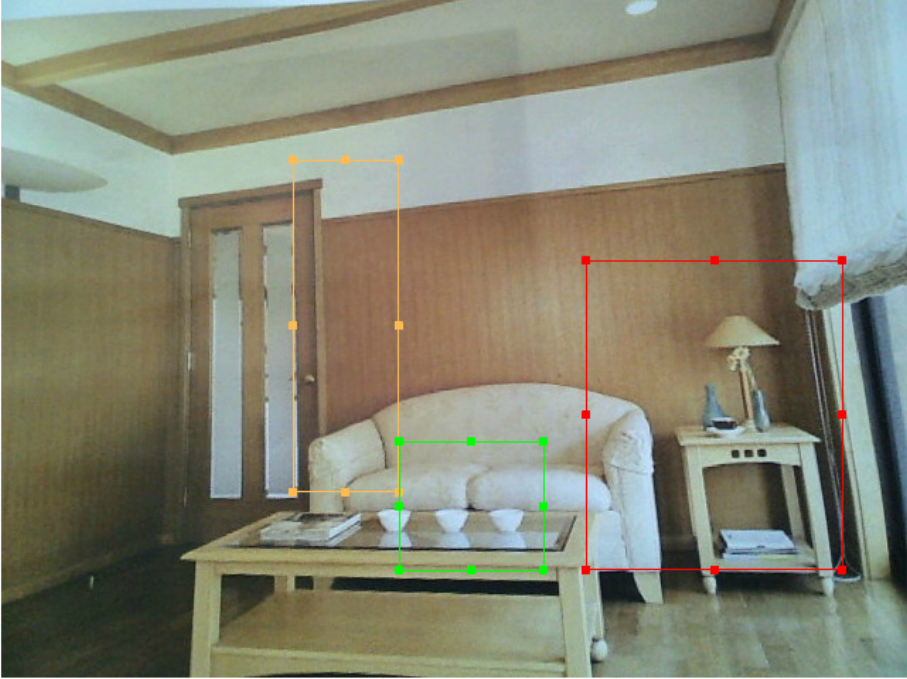
プライバシー設定	
プライバシー機能	有効 / 無効を選択します。
表示設定	［暗転］のみ選択できます。
スケジュール機能	スケジュールを設定する場合は［有効］を選択し、時間を設定します。
時間設定	スケジュール機能の有効時、プライバシー機能を有効にする時間を設定します。 ※ スケジュールの開始と終了は、3 分以上に設定してください。

音量設定

音量設定	
ミュート	ON/OFF を選択します。ON にすると本製品のマイクを消音にします。
音量	本製品のマイクの音量を設定します。
スピーカー出力	本製品のスピーカーの音量を設定します。

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

動作検知設定

動作検知設定	
動作検知機能	有効 / 無効を選択します。
動作検知する間隔	動作検知する間隔を選択します。（1/3/5/10/15/20/30/45/60 秒から選択） ※ 例えば 5 秒に設定した場合、本製品は 5 秒ごとに設定した範囲内に動きがあるかを確認します。 ※ 撮影枚数が多くなりすぎた場合は、「動作検知する間隔」を長めに設定すると撮影枚数が減ります。
撮影方法	動作検知した際の撮影方法を、撮影しない、スナップショット（静止画）または動画　から選択します。 ※［動画］を選択した場合、録画できるファイル容量は最大 2MB です。（2MB になると自動で録画を停止します。）
動作検知時の録画時間	動作検知してから何秒間録画するかを選択します。（1/2/3/4/5/10 秒から選択）
メールで通知	動作検知した際の画像をメールに送信する場合は、［有効］を選択します。 ※ メール設定は本製品の設定画面の［基本設定］→［メール設定］でおこないます。（「メール設定」P.64 参照）
撮影したファイルの送信先	動作検知した際の画像の送信先を選択します。

範囲設定

範囲設定	
範囲	検知する範囲を設定します。 ※ 検知対象の範囲を狭くすると、検知精度を上げることができます。 ※ 範囲は３つまで設定できます。
感度	検知する感度の設定をします。 ※ 感度を上げると、検知しやすくなります。検知しすぎる場合は、感度を下げます。
しきい値	検知する画像の変化量を設定します。 ※ 値を小さくすると、より小さな変化でも検知することができます。

スケジュール機能設定

スケジュール機能設定	
スケジュール機能	有効 / 無効を選択します。
時間設定	動作検知をおこなう時間帯を設定します。 ※ スケジュールの開始と終了は、3 分以上に設定してください。

FTP設定

Qwatch
Live View 設定
• 基本設定
• ビデオ
• 動作検知
動作検知設定
範囲設定
スケジュール機能設定
FTP設定
• 保存設定
FTP設定
FTPサーバー名:
ユーザー名:
パスワード:
ポート番号:
パス:
パッシブモード: 有効 無効
設定 テストファイルを送信

FTP 設定	
FTP サーバー名	FTP のサーバー名を入力します。(IP アドレス等)
ユーザー名	FTP のユーザー名を入力します。
パスワード	FTP のパスワード名を入力します。
ポート番号	FTP で使用するポート番号を入力します。(通常 21 番)
パス	FTP サーバー内のフォルダーを指定します。 ※ 下層のフォルダーを設定する場合は、“/” で区切ってください。 ※ フォルダーおよびファイルを含めたフルパスで 256 文字まで入力できます。 ※ 半角英数字で指定します。 (例：disk1 フォルダーの下の TS-WLC2 フォルダーを設定する場合、 disk1/TS-WLC2　と入力)
パッシブモード	FTP が正常に通信できていない場合、［有効］を選択します。

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

保存設定

保存先設定

保存場所	
保存先	「LAN DISK/SD カードへ写真を保存」 または「LAN DISK/SD カードへ映像を録画」 をクリックした際の保存先を選択します。 SD カード /LAN DISK から選択します。

スケジュール機能設定

スケジュール機能設定	
スケジュール機能	有効 / 無効を選択します。
時間設定	録画をおこなう時間帯を設定します。 ※ スケジュールの開始と終了は、3 分以上に設定してください。

LAN DISK保存設定

Qwatch

Live View　設定

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
  - 保存先設定
  - スケジュール機能設定
  - LAN DISK保存設定
  - SDカード保存設定
  - SDカードファイル管理
  - ローカル保存設定
- システム
- システム情報
- カメラ共有

LAN DISK保存設定

ステータス:	非接続
保存場所(LAN DISK):	\\ IPアドレス \ 共有フォルダー名 \ (フォルダー名)
録画容量不足の通知 :	○有効 ◉無効
録画の自動停止時間:	指定なし
連続録画 :	○有効 ◉無効
1ファイル当たりの最大サイズ:	500 MB
LAN DISKへの最大保存サイズ:	使用しない
	複数のIPカメラの映像を1台のLAN DISKに録画する場合は、 「LAN DISKへの最大保存サイズ」を設定する必要があります。 この設定はLAN DISKの空き容量を超えないように設定してください。
アクセス制限:	制限なし
ユーザー名:	
パスワード:	

設定

LAN DISK 保存設定		
ステータス	LAN DISK の状態を表示します。	
	非接続	LAN DISK にファイルを保存できない状態です。LAN DISK が非接続または未設定または設定内容が間違っています。
	接続	LAN DISK にファイルを保存できる状態です。
保存場所	保存先 LAN DISK の IP アドレスとフォルダー名を入力します。 (\\ IP アドレス \ 共有フォルダー名 \ (フォルダー名)) ※ ルートフォルダーに保存する場合は、「 \ (フォルダー名)」は不要です。 ※ フォルダーおよびファイルを含めたフルパスで 256 文字まで入力できます。 ※ 保存先フォルダー名は半角英数字で指定します。 例）以下の場所を保存先に指定する場合、「\\192.168.0.200\disk\camera」と入力します。 IP アドレス　共有フォルダー　フォルダー	
録画容量不足の通知	有効にすると、録画容量が足りなくなった場合に、メールでお知らせします。 ※ メール設定はカメラの設定画面の［基本設定］→［メール設定］でおこないます。(「メール設定」P.64 参照)	
録画の自動停止時間	選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。[指定なし] を選択すると、録画停止ボタンをクリックするまで録画を続けます。	
連続録画	有効にすると、連続で録画します。 ※ 容量が足りなくなった場合、古い録画ファイルを消して（上書きして）、録画を続けます。	
1 ファイル当たりの最大サイズ	1 ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。	
LAN DISK への最大保存サイズ	複数のカメラの映像を録画するときは、現在ご利用のカメラが録画できる最大容量を設定します。	
アクセス権限	制限なし / 制限ありを選択します。	
	制限あり	保存先 LAN DISK の共有フォルダーにアクセス制限を設定されている場合に選択します。LAN DISK に登録したユーザー名とパスワードを設定します。
	制限なし	保存先 LAN DISK の共有フォルダーにアクセス制限を設定していない場合に選択します。
ユーザー名	上記、アクセス制限を［制限あり］にした場合、LAN DISK に登録したユーザー名とパスワードを入力し、設定します。	
パスワード		

SDカード保存設定

Qwatch

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
  - 保存先設定
  - スケジュール機能設定
  - LAN DISK保存設定
  - SDカード保存設定

SDカード保存設定

ステータス:	使用可能
残り容量:	1884 MB
録画容量不足の通知：	○有効 ◉無効
録画の自動停止時間:	指定なし
連続録画：	○有効 ◉無効
1ファイル当たりの最大サイズ:	500 MB

SDフォーマット　マウント解除　設定

SD カード保存設定		
ステータス	SD カードの状態を表示します。	
	SD カードが挿入されていません。	SD カードが取り付けられていないか、保存できない状態です。
	使用可能	SD カードにファイルを保存できる状態です。
残り容量	SD カードの空き容量を表示します。	
録画容量不足の通知	有効にすると、録画容量が足りなくなった場合に、メールでお知らせします。 ※ メール設定はカメラの設定画面の［基本設定］→［メール設定］でおこないます。(「メール設定」P.64 参照)	
録画の自動停止時間	選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。[指定なし] を選択すると、録画停止ボタンをクリックするまで録画を続けます。	
連続録画	有効にすると、連続で録画します。 ※ 容量が足りなくなった場合、古い録画ファイルを消して（上書きして）、録画を続けます。	
1 ファイル当たりの最大サイズ	1 ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。	
SD フォーマット	クリックすると、SD カードを初期化します。 ※ 初期化すると SD カード内のデータがすべて消えてしまいます。 SD カード内に保存された重要なデータについては、必ず定期的にバックアップをおこなってください。 接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。 （バックアップとは保存したデータを守るために、HDD･BD･DVD などの記憶媒体にデータの複製を作成することです。データを移動させることはバックアップではありません。）	
マウント解除	クリックすると、カメラの電源が入っている状態でも SD カードを取り外せます。	

SDカードファイル管理

Qwatch

Live View 設定

• 基本設定
• ビデオ
• 動作検知
• 保存設定
保存先設定
スケジュール機能設定
LAN DISK保存設定
SDカード保存設定
SDカードファイル管理
Event
Schedule
Manual

SDカードファイル管理

SDカードに保存したファイルの管理を行えます。

Event:

SDカード内のEventフォルダです。動体検知により撮影したスナップショット、動画ファイルが保存されています。

Schedule:

SDカード内のScheduleフォルダです。スケジュール設定を行って保存した動画ファイルが保存されています。

Manual:

SDカード内のManualフォルダです。手動で撮影したスナップショット、録画ファイルを保存しています。

SD カードファイル管理	
Event	動作検知により撮影したスナップショット、動画ファイルの一覧を表示します。 ［選択］にチェックをつけ、［削除］をクリックすると、ファイルを削除できます。
Schedule	スケジュール設定をおこなって保存した動画ファイルの一覧を表示します。 ［選択］にチェックをつけ、［削除］をクリックすると、ファイルを削除できます。
Manual	手動で撮影したスナップショット、動画ファイルの一覧を表示します。 ［選択］にチェックをつけ、［削除］をクリックすると、ファイルを削除できます。

ローカル保存設定

ローカル保存設定	
録画の自動停止時間	選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。[指定なし] を選択すると、録画停止ボタンをクリックするまで録画を続けます。
1 ファイル当たりの最大サイズ	1 ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

パン・チルト設定

パン・チルト設定	
回転スピード	カメラの回転スピードを設定します。
回転幅	カメラの回転幅を設定します。
自動校正	［有効］にすると、自動的にカメラの位置を校正します。
位置校正自動設定	自動校正を［有効］に選択した場合、位置校正をおこなう時間を設定します。 ［手動校正］をクリックすると、直ちにホームポジションの位置校正をおこないます。

パトロール設定

Qwatch

Live View　設定

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- パン・チルト
  - パン・チルト設定
  - パトロール設定
  - プリセット設定
  - ホームポジション設定
- システム
- システム情報
- カメラ共有
- アカウント管理

パトロール設定

パトロールモード :	◉有効 ○無効
スケジュール機能 :	◉有効 ○無効
パトロール時間 :	開始 09 : 00 ～ 終了 10 : 00
パトロール範囲 :	プリセット1 → プリセット2 → プリセット3 → プリセット4
プリセット位置での停止時間 :	10 秒
	10秒以上に設定してください
プレビュー :	

0000-00-00 00:00:00

プレビュー　設定

パトロール設定	
パトロールモード	［有効］を選択します。
スケジュール機能	パトロール時間を設定する場合は、［有効］を選択します。
パトロール時間	［スケジュール機能］を［有効］にした場合、パトロールする時間帯を設定します。 ※ 開始と終了は、３分以上空けて設定してください。 ※ 開始時間と終了時間を同じ時間に設定することはできません。
パトロール範囲	パトロールモードの有効時に、パトロールする範囲を設定します。 「プリセット設定」で設定した向きを選択します。 ※ ４つまで範囲を設定できます。
プリセット位置での停止時間	プリセット設定した位置で停止する時間を設定します。 ※ 10 秒以上に設定してください。

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

プリセット設定

プリセット設定	
プレセット番号	現在のカメラの向きをプリセットに登録します。 また登録したプリセットの情報を削除することができます。

ホームポジション設定

ホームポジション設定	
ホームポジション	カメラのホームポジションを設定します。

システム設定

Qwatch

Live View　設定

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- システム
  - システム設定
  - 詳細設定

システム設定

カメラ名:　CAM-

管理者パスワード:　•••••••••••••

パスワード再入力:　•••••••••••••

ランプ:　ON　OFF

設定

システム設定	
カメラ名	カメラの名前を設定します。 ※ 出荷時設定：CAM-（MAC アドレス下 4 桁）
管理者パスワード	管理者パスワードを設定します。 ※ 出荷時設定：カメラの MAC アドレス ※ 半角で入力 ※ a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9 の文字を使用
パスワード再入力	「管理者パスワード」と同じパスワードを入力します。
ランプ	カメラのランプを消す場合は［OFF］を選択します。 ※ 出荷時設定：ON

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

詳細設定

Qwatch

Live View　設定

• 基本設定
• ビデオ
• 動作検知
• 保存設定
• パン・チルト
• システム
システム設定
詳細設定
• システム情報
• カメラ共有
• アカウント管理

ファームウェアの更新

ファームウェアの自動更新：　◉有効 ○無効 設定

ファイル名:　参照... 更新

設定の保存と復元

設定の保存:　実行

復元:　参照... 復元

リセット

システムの再起動:　今すぐ再起動

初期値に戻す:　◉ネットワーク設定を保持 ○出荷時設定 初期化

ファームウェアの更新	
ファームウェアの自動更新	［有効］にすると、WEB ブラウザーからカメラにアクセスした際にファームウェアの更新がないかを確認します。（1 日 1 回） またファームウェアの更新がある場合は、更新をお知らせする画面が表示されます。 ※ 出荷時設定：有効
ファイル名	ダウンロードしたファームウェアのアップデートファイルを指定します。［更新］を押すと、ファームウェアを更新します。
設定の保存と復元	
設定の保存	［実行］を押すと、カメラの各種設定情報をファイルに保存できます。 （保存先を選択し、［config.bin］ファイルを保存します。）
復元	［設定の保存］で保存したファイルからカメラの各種設定情報を読み込み、復元します。［参照］を押し、［設定の保存］で保存したファイルを読み込み、［復元］を押します。
リセット	
システムの再起動	［今すぐ再起動］を押すと、カメラを再起動します。 ※ 数分かかる場合があります。
初期値に戻す	［出荷時設定］を選択して、［初期化］を押すと、カメラの各種設定情報が出荷時設定に戻ります。 ［基本設定］メニューの［ネットワーク］および［無線設定］メニュー内にある設定を保持し、その他の設定を出荷時設定に戻したい場合は、［ネットワーク設定を保持］を選択して、［初期化］を押すと、カメラの各種設定情報が出荷時設定に戻ります。

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

システム情報

Qwatch

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- パン・チルト
- システム
- システム情報
- カメラ共有
- アカウント管理

システム

ファームウェアバージョン : v
ActiveXバージョン : v
起動時間 : 36 min 40 sec
システム時刻 : 2014/06/19 15:11:01

LAN

IPアドレス :
サブネットマスク :
デフォルトゲートウェイ :
プライマリーDNS :
セカンダリーDNS :
MACアドレス :
HTTPポート番号 :

無線LAN

無線LANリンクステータス : 接続
SSID :
チャンネル :
暗号化方式 : WPA2-PSK(AES)
AP MACアドレス :

システム	
ファームウェアバージョン	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。
ActiveX バージョン	カメラがサポートしている ActiveX のバージョン情報を表示します。
起動時間	最後にカメラの電源を入れてから、現在までの時間を表示します。
システム時刻	時刻を表示します。
LAN	
IP アドレス	カメラの IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	カメラのサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	カメラのデフォルトゲートウェイを表示します。
プライマリー DNS	プライマリー DNS を表示します。
セカンダリー DNS	セカンダリー DNS を表示します。
MAC アドレス	カメラの MAC アドレスを表示します。
HTTP ポート番号	カメラのポート番号を表示します。
無線 LAN	
無線 LAN リンクステータス	無線 LAN の接続状態を表示します。
SSID	接続している無線 LAN ルーターの SSID を表示します。
チャンネル	接続している無線 LAN ルーターで使用中のチャンネルを表示します。
暗号化方式	接続している無線 LAN ルーターの暗号化方式を表示します。
AP MAC アドレス	接続している無線 LAN ルーターの MAC アドレスを表示します。

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

カメラ共有

カメラ共有	
QR コードを作成する	［作成開始］をクリックすると、アカウントの選択画面が表示されます。アカウントを選択し、視聴期限付き QR コードを作成します。

ユーザー設定

Qwatch

• 基本設定
• ビデオ
• 動作検知
• 保存設定
• システム
• システム情報
• カメラ共有
• アカウント管理
ユーザー設定
権限設定
匿名ログイン設定

ユーザー設定

ユーザーリスト: IO-CAM

追加 編集 削除

ユーザー設定	
ユーザーリスト	現在登録されているユーザー権限のアカウントのユーザー名を表示します。
追加	ユーザー権限のアカウントが追加できます。［追加］をクリックすると、ユーザー名とパスワードの登録画面が表示されます。 ※ パスワードは半角で入力し、a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9 の文字を使用してください。
編集	パスワードの変更がおこなえます。［ユーザーリスト］からユーザー名を選択し、［編集］をクリックすると、パスワードの変更画面が表示されます。 ※ パスワードは半角で入力し、a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9 の文字を使用してください。
削除	［ユーザーリスト］からユーザー名を選択し、［削除］をクリックすると選択したアカウントを削除することができます。

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

権限設定

Qwatch

- 基本設定
- ビデオ
- 動作検知
- 保存設定
- システム
- システム情報
- カメラ共有
- アカウント管理
  - ユーザー設定
  - 権限設定
  - 匿名ログイン設定

権限設定

ユーザーリスト: IO-CAM

使用	機能	説明
☑	スナップショット/録画(ローカル)	パソコンへの保存ができます。
☑	スナップショット/録画(LAN DISK/SDカード)	LAN DISK/SDカードへの保存ができます。
☑	全画面/ズーム	デジタルズームを使用できます。
☑	プライバシー	プライバシーモードを使用できます。
☑	暗視	暗視モードを使用できます。
☑	動作検知	動作検知モードを使用できます。
☑	ミュート	マイク音量の調整ができます。
☑	通話	通話機能を使用できます。
☑	QRコード作成	QwatchView上の機能です。
☑	ライブラリ管理	QwatchView上の機能です。

権限を変更する

権限設定		
ユーザーリスト	現在登録されているユーザー権限のアカウントのユーザー名を表示します。	
使用機能	ユーザーリストで選択したアカウントに許可する機能にチェックを付けます。許可しない機能のチェックは外し、［権限を変更する］をクリックすると反映されます。	
	スナップショット / 録画（ローカル）	ローカルドライブへスナップショットの保存や映像の録画を許可します。
	スナップショット / 録画（LAN DISK/SD カード）	LAN DISK や SD カードへスナップショットの保存や映像の録画を許可します。
	パン・チルト / プリセット / パンチルト反転	パン・チルトとプリセットの操作ができます。
	全画面 / ズーム	全画面表示やズームができます。
	パトロール	パトロール機能が使用できます。
	プライバシー	プライバシー機能が使用できます。
	暗視	暗視機能が使用できます。
	動作検知	動作検知機能のオン / オフがおこなえます。
	ミュート	マイク音量の調整がおこなえます。
	通話	通話機能を使用できます。
	QR コード作成	QwatchView で共有ユーザー用の QR コードを作成できます。
	ライブラリ管理	QwatchView のライブラリメニューから SD カードや LAN DISK 内のデータを確認することができます。

匿名ログイン設定

匿名ログイン設定	
匿名でログイン	有効 / 無効を選択します。有効にすると、ユーザー名やパスワードを入力せずにカメラの映像を見ることができます。

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

困ったときには

困ったときには

参照したいトラブルの対処をご覧ください。

トラブルの内容	参照ページ
有線 LAN でカメラに接続できない	88 ページ
無線 LAN でカメラに接続できない	88 ページ
カメラの映像が表示できない	88 ページ
設定画面が開けない	89 ページ
管理者用のユーザー名やパスワードを忘れてしまった	90 ページ
ActiveX がインストールできない	90 ページ
すでに ActiveX がインストールされているのにカメラの映像が表示されない	91 ページ
iobb.net の設定後、［アドレスの更新］ボタンを押すと、「ホスト名が違います。」と表示されて IP アドレスの更新に失敗してしまう	91 ページ
ハウリングする	91 ページ
スマートフォンでカメラの映像表示が遅い	91 ページ
映像設定により録画時間が違う	92 ページ
動作検知設定時、「テストメールを送信」でエラーになってしまう	92 ページ
動作検知設定時、「テストファイルを送信」でエラーになってしまう	92 ページ
Mac OS 10.9 で録画した映像の再生ができない	92 ページ
無線 LAN 接続で動作が不安定	92 ページ

ヒント

弊社Webページにも製品Q&Aを掲載しています（http://www.iodata.jp/support/）

併せてご覧ください。またファームウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。

（「ファームウェアのバージョンアップ方法」P.53 参照）

Q 有線LANでカメラに接続できない

対処 カメラをつないでいる有線 LAN ルーターまたはハブの LAN ポートのランプが点灯していることを確認します。消灯している場合は、正しく LAN ケーブルが接続されていることを確認してください。

Q 無線LANでカメラに接続できない

対処 手動で無線 LAN ルーターに接続した場合(カメラの設定画面→「基本設定」→「無線設定」から接続した場合)、入力した SSID と暗号キー (プレシェアードキーまたは WEB キー)が正しいかどうかご確認ください。

対処 ご利用の無線 LAN ルーターにセパレート機能がある場合は、セパレート機能を使用せずにカメラを接続できるかどうかご確認ください。

Q カメラの映像が表示できない

対処 カメラがインターネット接続可能な環境に接続されていることを確認してください。

対処 添付の「かんたん接続シート」に記載の[ホスト名]、[HTTP ポート番号]を確認し、URL があっているかどうかご確認ください。
(例)ホスト名:wcam-1234567　ポート番号:12345 の場合
　http://wcam-1234567.iobb.net:12345 にアクセス

対処 カメラを接続したネットワーク環境でルーターが 2 重になっている場合は、外部からカメラにアクセスができません。例えば、インターネット回線のモデムにルーター機能があり、更にブロードバンドルーターを接続している場合はルーター機能が 2 重になっている場合があります。
どちらか一方のルーター機能を無効にしてご確認ください。

対処 マンションなどの標準の回線でインターネット接続している場合や、モバイルルーター、WiMAX ルーターを使用している場合は、ご契約のインターネット接続サービスで、インターネットにカメラを公開する事が可能かどうかをご確認ください。
インターネットにカメラを公開できないサービスの場合には、カメラと同じネットワーク内でのみご使用いただくか、カメラを公開可能なインターネット回線の設置をおこなってください。

対処 ルーター側で手動でポート開放設定をおこないアクセスできるかどうか、ご確認ください。
※ ポートの開放については、ルーターの取扱説明書またはメーカーにてご確認ください。
※ ポート開放には、カメラのポート番号と IP アドレスの情報が必要です。
- ポート番号:添付「かんたん接続シート」の「ポート番号」を確認
- IP アドレス:カメラと同一ネットワーク内にあるパソコンから「MagicalFinder」を起動して確認
  (添付の「パソコン用ガイド」または「セットアップガイド - パソコンで利用する」参照)

対処
- 無線 LAN ルーターとカメラ間の距離を短くしてご確認ください。
- 間に障害物がある場合は、障害物を取り除いて見通しをよくしてご確認ください。
- 無線 LAN ルーターのチャンネル設定を変更してください。どちらか一方のルーター機能を無効にしてご確認ください。

Q 設定画面が開けない

対処 カメラが起動中または再起動中の可能性があります。カメラが起動するまで 40 秒ほどお待ちください。

対処 セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

対処 パソコンの IP アドレスがカメラと通信できないものの場合、カメラの IP アドレスを固定設定にしてご利用ください。
(「IP アドレスの変更方法」 P.49 参照)

対処 Web ブラウザーがダイアルアップする設定になっている場合、以下の手順でダイヤルしない設定にします。
①[Internet Explorer]画面の[ツール]メニューの[インターネット オプション]をクリックします。
② [接続]タブをクリックし、[ダイヤルしない]をチェックします。

対処 Web ブラウザーがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出す事ができません。
Web ブラウザーの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。

▼ Windows の場合
①[Internet Explorer]画面の[ツール]メニューの[インターネット オプション]をクリックします。
② [接続]タブをクリックし、[LAN の設定]ボタンをクリックします。
③ すべてのチェックを外し、[OK]をクリックします。
④ [インターネット オプション](または [インターネットのオプション]) へ戻りますので、[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。
以上で設定は完了です。

▼ Mac OS の場合
① [アップルメニュー] → [場所] → [ネットワーク環境設定 ...] の順にクリックします。
② [プロキシ]タブをクリックし、以下の設定をおこないます。
③ 設定後、左上の(×)をクリックして、画面を閉じます。
以上で設定は完了です。

対処 Mac OSの場合、[アップルメニュー]→[ネットワーク環境(場所)]→[ネットワーク環境設定]→[TCP/IP]で、[DHCP サーバを参照] が選択されていることを確認してください。
[DHCP サーバーを参照] が選択されていない場合は、[PPPoE] をクリックし、[PPPoE を使って接続] にチェックが入っている場合は、チェックを外してください。

対処 PPPoE の広帯域接続を使用している場合は、以下の手順で設定してください。
▼ Windows の場合
ネットワーク接続で[広帯域]を削除してください。

▼ Mac OS X (~ 10.4)の場合
システム環境設定内の「ネットワーク」で [PPPoE を使って接続する] がチェックされていないことを確認してください。

▼ Mac OS X (10.5 ~)の場合
システム環境設定内の「ネットワーク」で [PPPoE] で接続されていないか確認してください。
PPPoE の接続設定がある場合は設定をクリックし [-] ボタンをクリックして削除してください。

Q 管理者用のユーザー名やパスワードを忘れてしまった

対処

出荷時設定はユーザー名：admin、パスワード：カメラの MAC アドレス（12 桁の半角大文字）になります。
出荷時設定から変更していて忘れてしまった場合は、出荷時設定に戻してください。
（「出荷時設定に戻す方法」P.56 参照）
出荷時設定に戻すと、その他の設定も初期化されますので、設定しなおしてください。

Q ActiveXがインストールできない

対処

Internet Explorer の設定を確認してください。
① Internet Expolorer を開き、［ツール］→［インターネット オプション］の順にクリックします。
②［セキュリティ］→［レベルのカスタマイズ］の順にクリックします。
③ ［署名された ActiveX コントロールのダウンロード］（または［署名済み ActiveX コントロールのダウンロード］）の［ダイアログを表示する］にチェックをつけ、［OK］をクリックします。
④ Internet Explorer を利用して本製品にアクセスし、ActiveX のインストールができるかどうかご確認ください。

対処

以下の手順でインストールしてください。
① 以下の画面上にある［ActiveX のダウンロード］をクリックし、ActiveX のインストーラーをパソコンのデスクトップなどわかりやすい場所へダウンロードします。

② ダウンロード後、Internet Explorer を閉じます。
※ Internet Explorer を起動したままインストールを実行すると、インストールできません。
※ Internet Explorer を閉じても「ブラウザを閉じてください」のメッセージが表示される場合は、タスクマネージャーから Internet Explorer のプロセスを終了させるか、パソコンを再起動してください。
③ ダウンロードした ActiveX のインストーラーをダブルクリックし、パソコンへインストールします。
④ インストール完了後、Internet Explorer を起動します。
⑤ LiveView 画面にカメラの映像が表示されるか確認します。
カメラの映像が表示されていない場合は、更新ボタンまたは F5 キーを押します。
以上でインストールは完了です。

Q すでにActiveXがインストールされているのにカメラの映像が表示されない

対処 **以下の手順でインストールしてください。**

① 以下の画面上にある[ActiveX のダウンロード]をクリックし、ActiveX のインストーラーをパソコンのデスクトップなどわかりやすい場所へダウンロードします。

② ダウンロード後、Internet Explorer を閉じます。

※ Internet Explorer を起動したままインストールを実行すると、インストールできません。

※ Internet Explorer を閉じても「ブラウザを閉じてください」のメッセージが表示される場合は、タスクマネージャーから Internet Explorer のプロセスを終了させるか、パソコンを再起動してください。

③ ダウンロードした ActiveX のインストーラーをダブルクリックし、パソコンへインストールします。

④ インストール完了後、Internet Explorer を起動します。

⑤ LiveView 画面にカメラの映像が表示されるか確認します。

カメラの映像が表示されていない場合は、更新ボタンまたは F5 キーを押します。以上で、インストールは完了です。

Q iobb.netの設定後、［アドレスの更新］ボタンを押すと、「ホスト名が違います。」と表示されてIPアドレスの更新に失敗してしまう

対処 以下の順に確認してください。

① 入力したホスト名をご確認ください。

※ xxxx.iobb.net の場合、「xxxx」のみ入力します。

※ 出荷時設定は添付の「かんたん接続シート」に記載しています。

出荷時設定：wcam-（半角英数字 7 文字）.iobb.net

② ホスト名の前にスペース(空白)が入ってないかをご確認ください。

ホスト名の先頭に、空白が入ってしまう場合があります。空白が入っていないかどうか確認してください。

Q ハウリングする

対処 **カメラのマイクとパソコンのスピーカーでハウリングを起こす可能性があります。スピーカー付きパソコンで使用する場合は、カメラをスピーカー部から 1m 以上離してください。**

Q スマートフォンでカメラの映像表示が遅い

対処 **お使いのスマートフォンによっては、高画質設定にすると、カメラの映像表示が遅くなる場合があります。**

主にスマートフォンを使用する場合は、カメラの設定画面の「ビデオ」→「映像設定」画面にて、以下の設定に変更してお試しください。（「映像設定」P.65 参照）

解像度：QVGA

画質：普通

最大フレームレート：15

Q 映像設定により録画時間が違う

対処 カメラの設定画面より[ビデオ]→[映像設定]画面を開き、設定します。(「映像設定」P.65 参照)
以下の例を参考に設定してください。

フォーマット	解像度	フレームレート	1 時間あたりの録画容量	1TB の HDD に録画可能時間
H.264	HD	24fps	約 800MB	約 1230 時間
		15fps	約 750MB	約 1320 時間
	VGA	30fps	約 840MB	約 1180 時間
		15fps	約 710MB	約 1390 時間
	QVGA	30fps	約 780MB	約 1260 時間
		15fps	約 660MB	約 1510 時間
MJPEG	VGA	30fps	約 1.8GB	約 540 時間
		15fps	約 1.7GB	約 560 時間
	QVGA	30fps	約 1.7GB	約 560 時間
		15fps	約 1.7GB	約 570 時間

※ フレームレートは設置環境により設定値より低くなる場合があります。また、ファイルサイズはフレームレートの変動により増減します。
※ ローカル (PC) へ録画する場合、連続して録画ファイルを保存することができません。1 つの録画ファイル (上限 500MB) が作成される毎に表示されるメッセージにしたがって操作してください。

Q 動作検知設定時、「テストメールを送信」でエラーになってしまう

対処 以下をご確認ください。

・カメラの IP アドレスを固定設定している場合は、「デフォルトゲートウェイ」および「プライマリー DNS」、「セカンダリー DNS」の設定が正しいかどうかご確認ください。(「ネットワーク」P.60 参照)
・カメラの設定画面の「動作検知」→「メール設定」に入力している「アカウント」と「パスワード」が正しいかどうかご確認ください。(「メール設定」P.64 参照)

Q 動作検知設定時、「テストファイルを送信」でエラーになってしまう

対処 以下をご確認ください。

・カメラの IP アドレスを固定設定している場合は、「デフォルトゲートウェイ」および「プライマリー DNS」、「セカンダリー DNS」の設定が正しいかどうかご確認ください。(「ネットワーク」P.60 参照)
・LAN DISK 側の FTP 設定にて、「userFTP」が設定されているかどうかご確認ください。
(詳しくは LAN DISK の取扱説明書をご覧ください)
・カメラの設定画面の「動作検知」→「FTP 設定」に入力している「パス」が正しいかどうかご確認ください。
(弊社製 HDL-XR、HDL-V シリーズをご利用の場合、パスの最初に「sataraid1」を付け加える必要があります。例えば、disk1 フォルダーを指定したい場合、“sataraid1/disk1”と入力してください。)

Q Mac OS 10.9で録画した映像の再生ができない

対処 Mac OS 10.9 の場合は、映像の再生に別途コーデックが必要となります。

Q 無線LAN接続で動作が不安定

対処 有線 LAN 接続をお試しください。

設定画面の開き方

カメラの設定画面では、カメラの詳細な設定がおこなえます。

設定アプリ『Magical Finder』をダウンロードし、インストールして利用します。

※ IP アドレスは DHCP から取得になります。取得した IP アドレスは設定アプリ『Magical Finder』で確認できます。

※ 本手順は初めて「Magical Finder」をインストールする場合の手順です。

ヒント

カメラのファームウェアは最新版にアップデートしてください

カメラのファームウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。(「ファームウェアのバージョンアップ方法」P.53 参照)

古いファームウェアをご利用の場合、本マニュアルの内容と表示される画面や機能が異なる場合があります。

Windowsの場合

1 **Web ブラウザーを起動して以下の URL を入力またはクリックする**

⇒ Magical Finder のダウンロードページが開きます。

http://www.iodata.jp/r/3022

2 **ご利用の OS を選択し、ダウンロードをクリック**

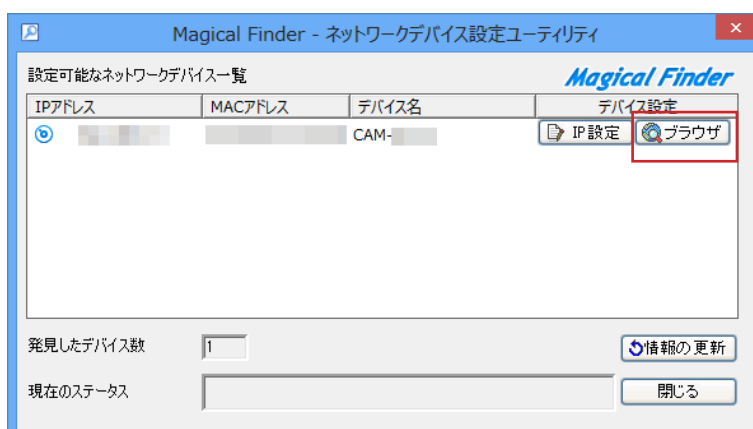
3 **[実行]をクリック**

4 **デスクトップ上にあるダウンロードした[mfinderXXX.exe]ファイルをダブルクリック**

※ XXX には数字が入ります。

5 **[mfinderXXX]フォルダーを開き、[MagicalFinder.exe]をダブルクリック**

※ XXX には数字が入ります。

⇒ Magical Finder が開きます。

6 **デバイス名を確認し、カメラのブラウザボタンをクリック**

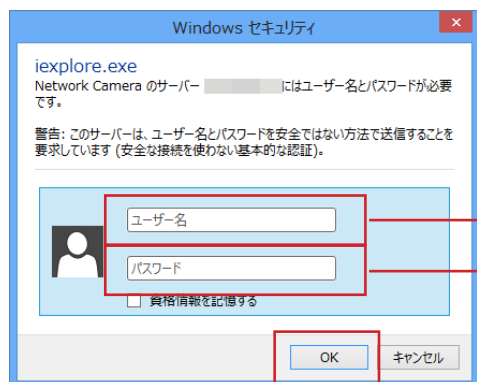
※ カメラのデバイス名は「CAM-(MAC アドレス下 4 桁)」で表示されます。

※ カメラの MAC アドレスは、カメラ背面のシール上に記載しています。

Q&A

Magical Finderでカメラが検出されない場合

[情報の更新] をクリックします。また、セキュリティソフトがインストールされている場合は、一時的にセキュリティソフトの機能を停止・終了します。

7

① **ユーザー名に[admin]を入力**

② **パスワードにカメラの MAC アドレス(12 桁)を入力**

※ カメラの MAC アドレスは、カメラ背面のシール上に記載しています。(大文字、半角英数字で入力)

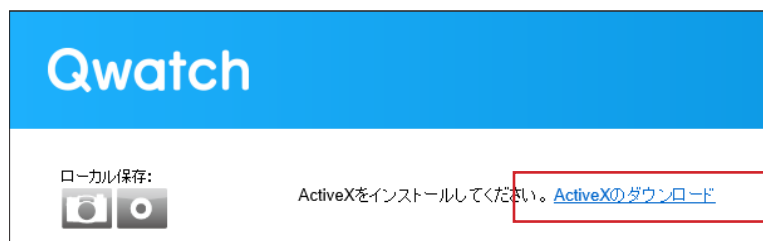
※ パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力します。

※ 管理者権限以外でログインすると使用に制限があります。
(「ユーザー権限と概要」P.7 参照)

③ **[OK]をクリックします。**

8 **[ActiveX のダウンロード]をクリック**

※ Internet Explorer を利用し、ご利用のパソコンで初めてカメラにアクセスした際、ActiveX のインストールが必要です。

※ すでに ActiveX がインストールされている場合は、カメラの映像が表示されます。

9 **[実行]をクリック**

※ ご利用環境により「･･･ はダウンロードしたユーザーの人数が少ないため、コンピューターに問題を起こす可能性があります」のメッセージが表示される場合がありますが、問題ありません。
[操作]→[実行]の順にクリックしてください。

※「この Web ページは、' I-O DATA DEVICE,INC.' の' IPCamPluginHMPT.ocx' アドオンを実行しようとしています。」のメッセージが表示された場合、[許可]をクリックしてください。

10 **ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、[はい]または[許可]をクリック**

11 **[Next]→[Next]→[Install]→[Finish]の順にクリック**

12 **Web ブラウザー画面の更新(C)をクリック**

13 **カメラの映像が表示されたら、[設定]をクリック**

⇒ 設定画面が表示されます。

※ カメラ映像が表示されない場合は、Web ブラウザーを起動しなおしてください。

ヒント

カメラと同じネットワーク上からアクセスする場合、以下のいずれかの方法でアクセスが可能です

- 設定アプリ「Magical Finder」をインストールし、アクセスする方法(本手順)
- Web ブラウザーから「http:// ホスト名 : HTTP ポート番号」にアクセスする方法
(添付の「パソコン用ガイド」または「セットアップガイド - パソコンで利用する」参照)

カメラ別対応機能について
各機能の使い方
詳細な設定をする
設定画面のリファレンス
困ったときには
もくじに戻る

Mac OSの場合

1 **Web ブラウザーを起動して以下の URL を入力またはクリックする**
⇒ Magical Finder のダウンロードページが開きます。

http://www.iodata.jp/r/3022

2 **ご利用の OS を選択し、ダウンロードをクリック**

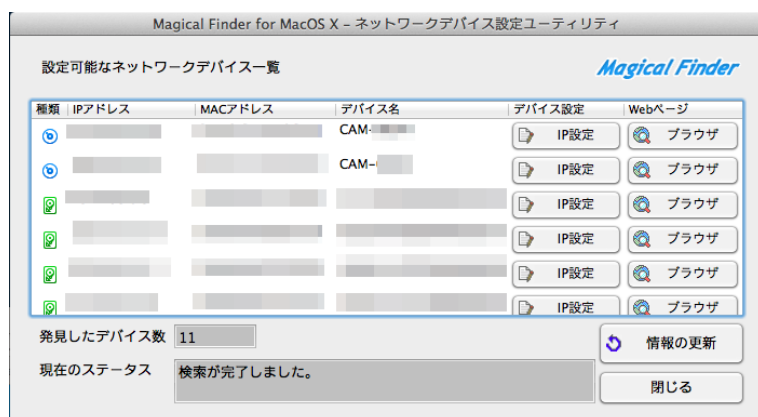
3 **Dock の[ダウンロード]→[MagicalFinder_for_Mac_XXX.dmg]ファイルの順にダブルクリック**　※ XXX には数字が入ります。

4 **デスクトップ上にあるダウンロードした[MagicalFinder for Mac XXX]→[Magical Finder]の順にダブルクリック**　※ XXX には数字が入ります。

5 **インターネット上からのダウンロードファイルを開く場合の警告が表示された場合、[開く]をクリック**
⇒ Magical Finder が開きます。

6 **デバイス名を確認し、カメラのブラウザボタンをクリック**
※ カメラのデバイス名は「CAM-（MAC アドレス下 4 桁）」で表示されます。
※ カメラの MAC アドレスは、カメラ背面のシール上に記載しています。

Q&A
Magical Finderでカメラが検出されない場合
［情報の更新］をクリックします。また、セキュリティソフトがインストールされている場合は、一時的にセキュリティソフトの機能を停止・終了します。

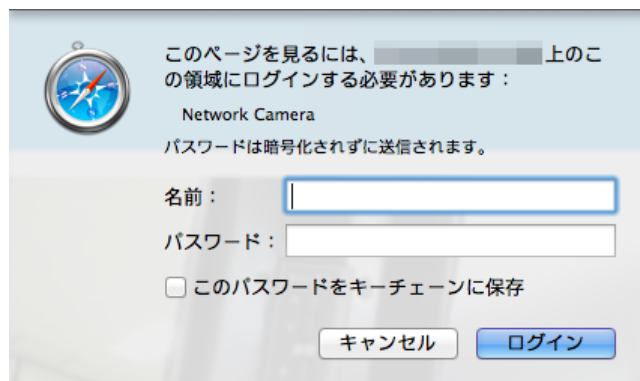
7

① ユーザー名に[admin]を入力

② パスワードにカメラの MAC アドレス(12 桁)を入力

③ [OK]をクリックします。

※ 本製品の MAC アドレスは、カメラ背面のシール上に記載しています。(大文字、半角英数字で入力)

※ パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力します。

※ 管理者権限以外でログインすると使用に制限があります。(「ユーザー権限と概要」P.7 参照)

8 **カメラの映像が表示されたら、[設定]をクリック**

⇒ 設定画面が表示されます。

※ カメラ映像が表示されない場合は、Web ブラウザーを起動しなおしてください。

ヒント

カメラと同じネットワーク上からアクセスする場合、以下のいずれかの方法でアクセスが可能です

- 設定アプリ「Magical Finder」をインストールし、アクセスする方法(本手順)
- Web ブラウザーから「http:// ホスト名：HTTP ポート番号」にアクセスする方法
  (添付の「パソコン用ガイド」または「セットアップガイド - パソコンで利用する」参照)

アフターサービスについて

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

「困ったときには」を参照 （87 ページ参照）

弊社サポートページのQ&Aを参照

➡ http://www.iodata.jp/support/

最新のソフトウェアをダウンロード

➡ http://www.iodata.jp/lib

それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話： 050-3116-3017

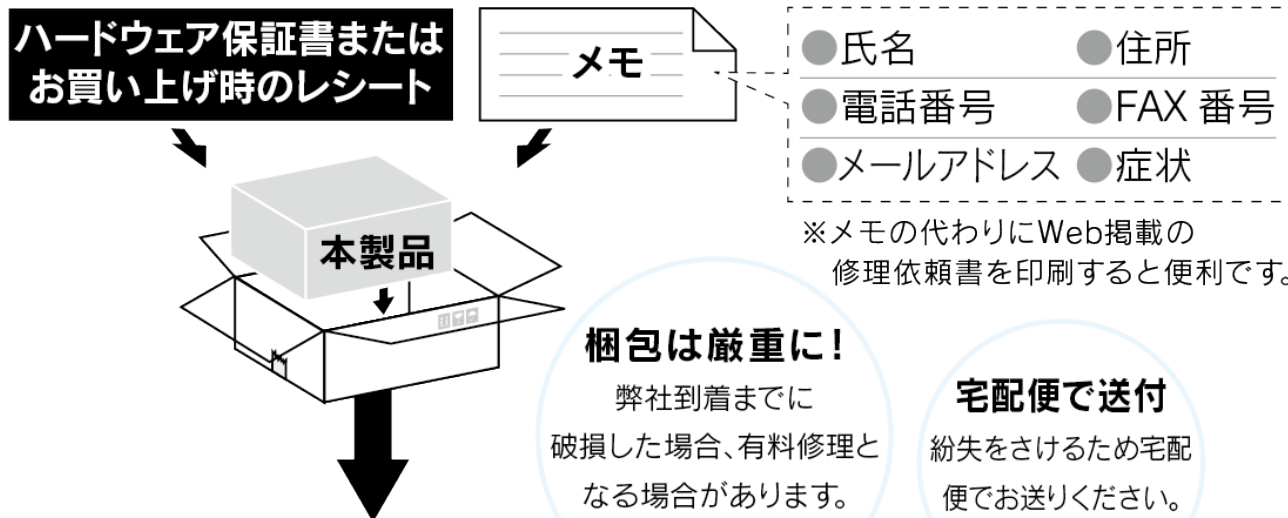
※受付時間　9：00～17：00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）

FAX： 076-260-3360

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

<ご用意いただく情報>製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

- 送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。（見積無料）
  金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータが入っている製品の場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
  バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えておいてください。

修理について詳しくは… http://www.iodata.jp/support/after/

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
   したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは 法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。
   これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for anydamages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan andprovide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【使用ソフトウェアについて】

本製品は、GNU General Public License Version2.June 1991 に基づいたソフトウェアが含まれています。変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【商標について】

● I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国または他国における Microsoft Corporation の登録商標です。
● iPhone、iPad、iPod touch、App Store は Apple Inc. の商標です。
● iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
● Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
● QR コード ® は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。